

まちづくり町民アンケート集計結果

調査の方法

令和4年11月30日現在の住民基本台帳をもとに18歳以上の町民の中から無作為に抽出した2千人に加え、広報紙・HPによるWEBアンケートにより実施

調査期間

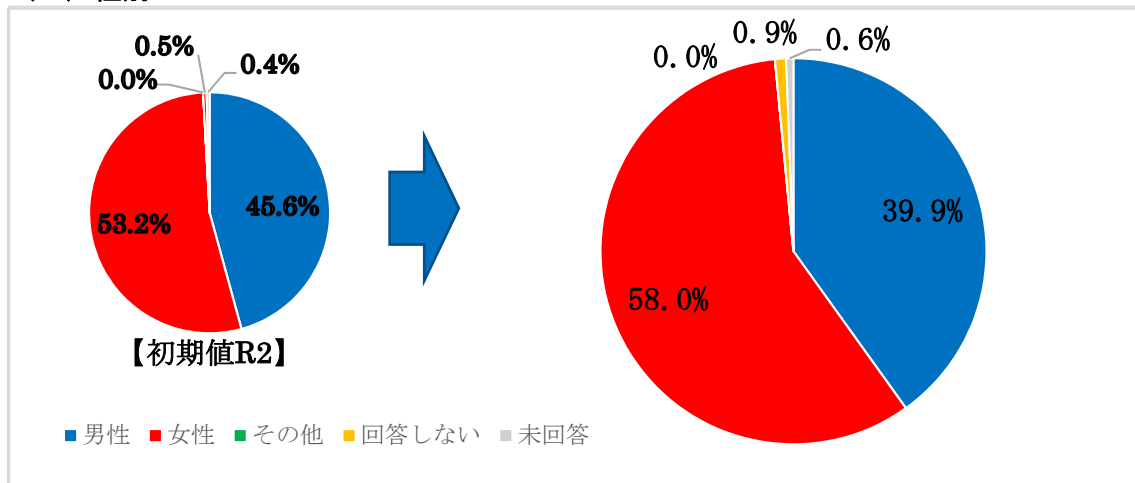
住民アンケート 令和5年1月4日～令和5年2月1日
広報紙・HPアンケート 令和5年12月27日～令和5年2月1日

回答数

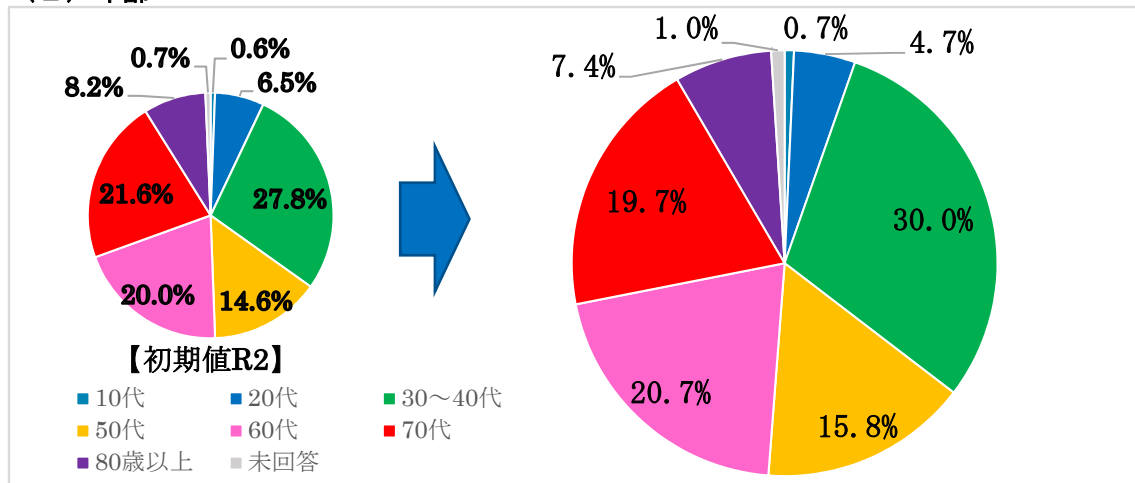
住民アンケート 回答数 750 (郵送 644 WEB 106) 配布数 2,000
広報紙・HPアンケート 回答数 236
合計 回答数 986

問1 回答者自身のことについて

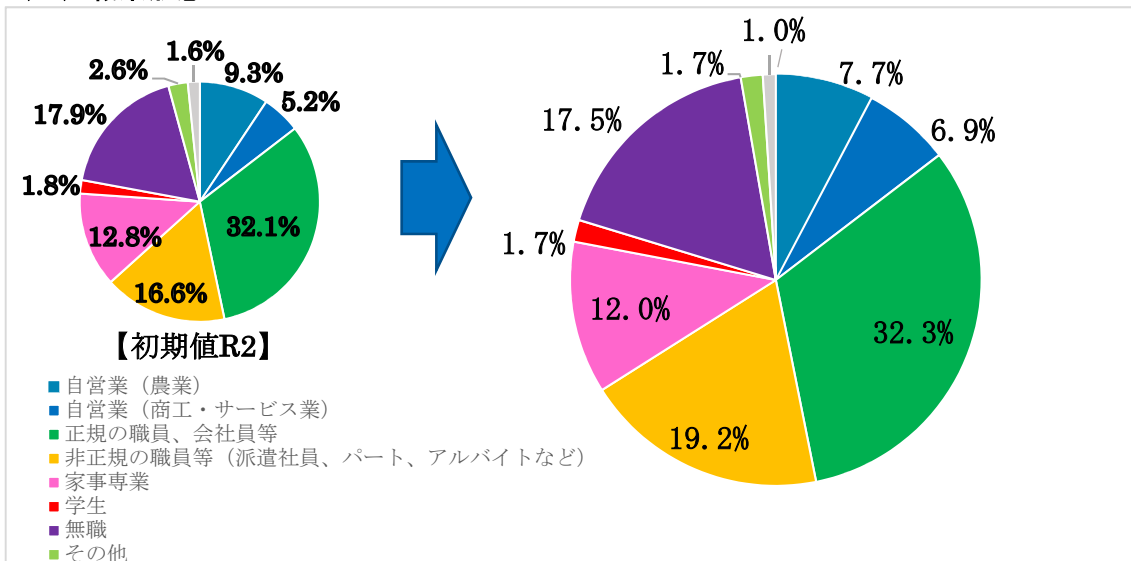
(1) 性別



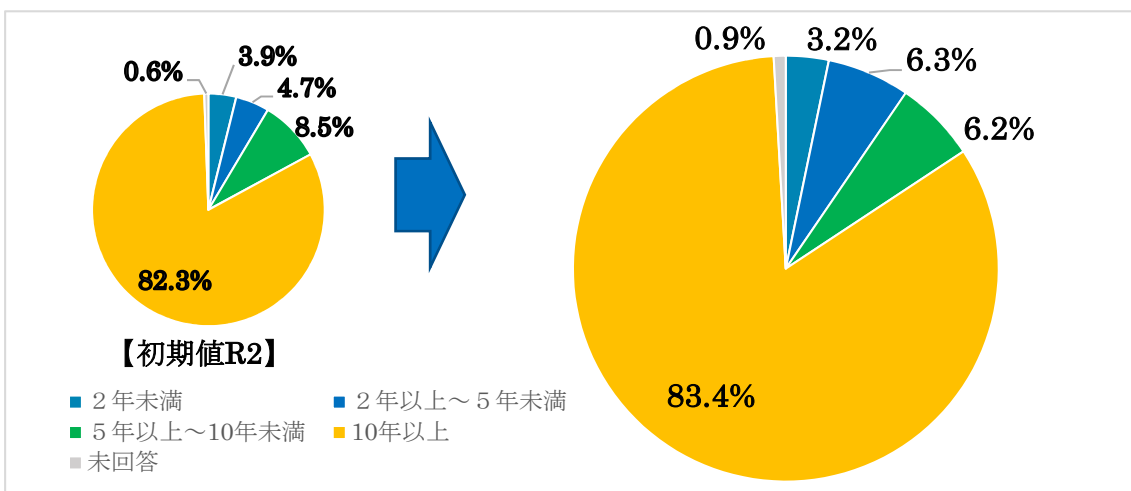
(2) 年齢



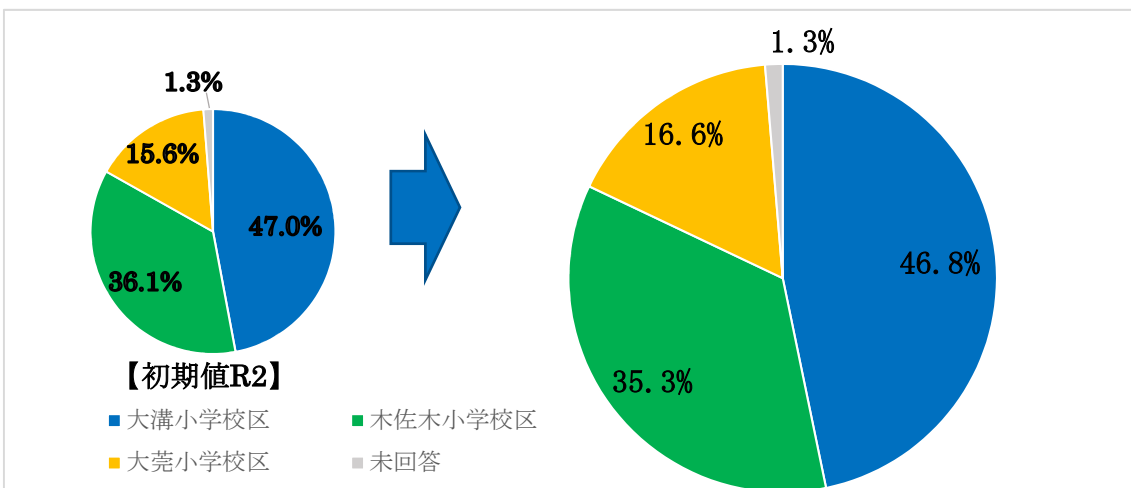
(3) 職業形態



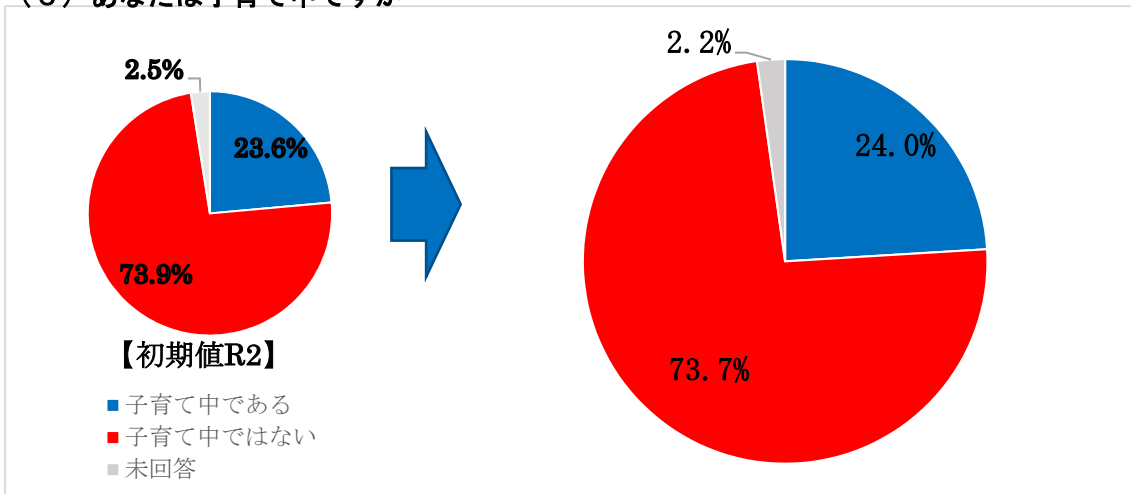
(4) 居住年数



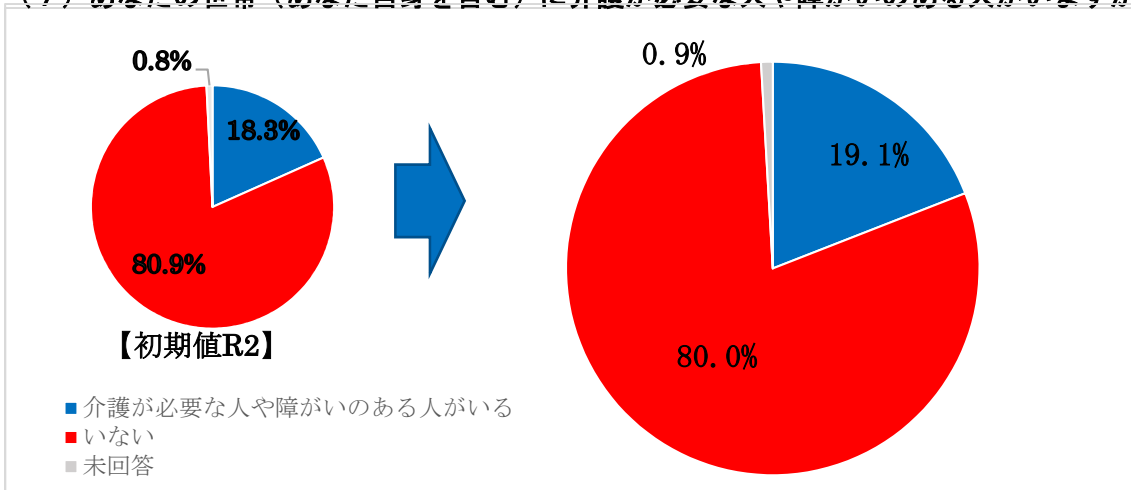
(5) 居住校区



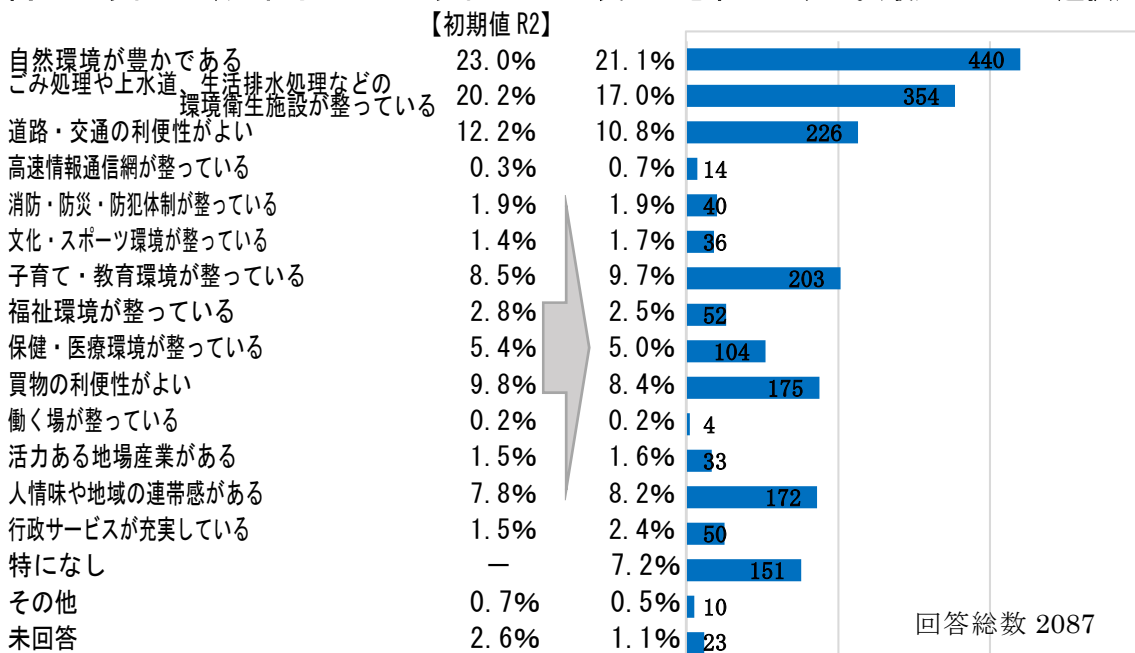
(6) あなたは子育て中ですか



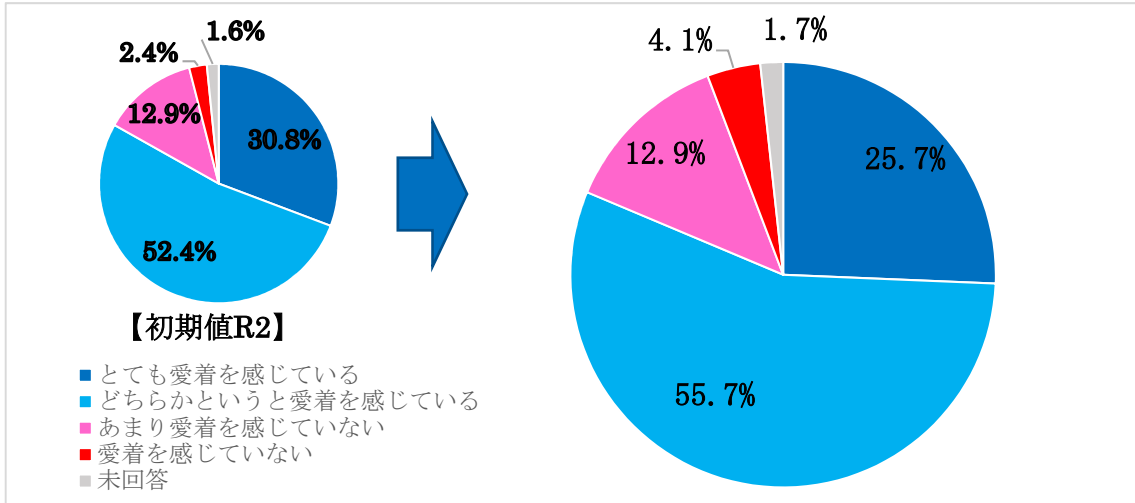
(7) あなたの世帯（あなた自身を含む）に介護が必要な人や障がいのある人がいますか



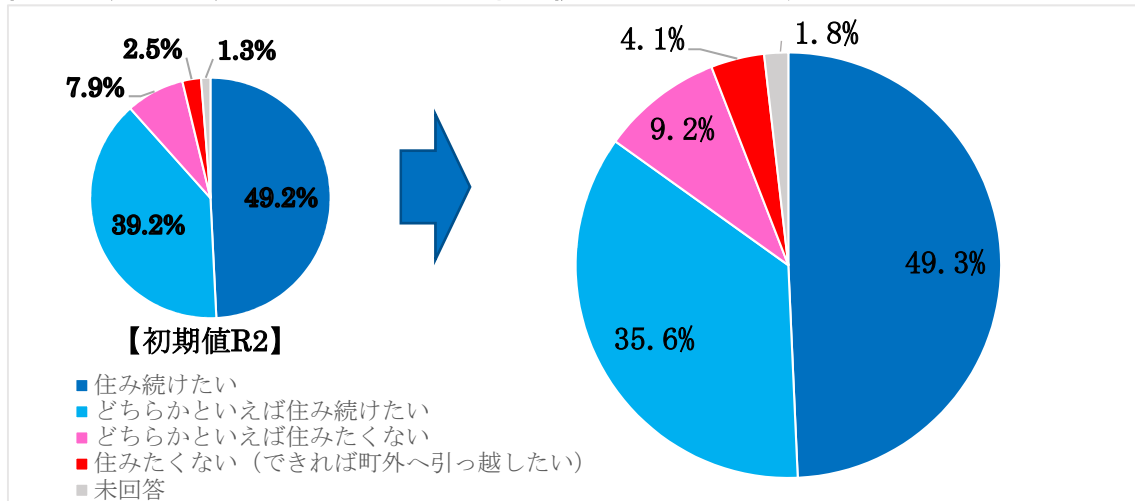
問2 あなたは、大木町のどのようなところが良いと思われますか。(最大3つまで選択)



問3 あなたは、「自分の住む町」として大木町にどの程度愛着を感じていますか

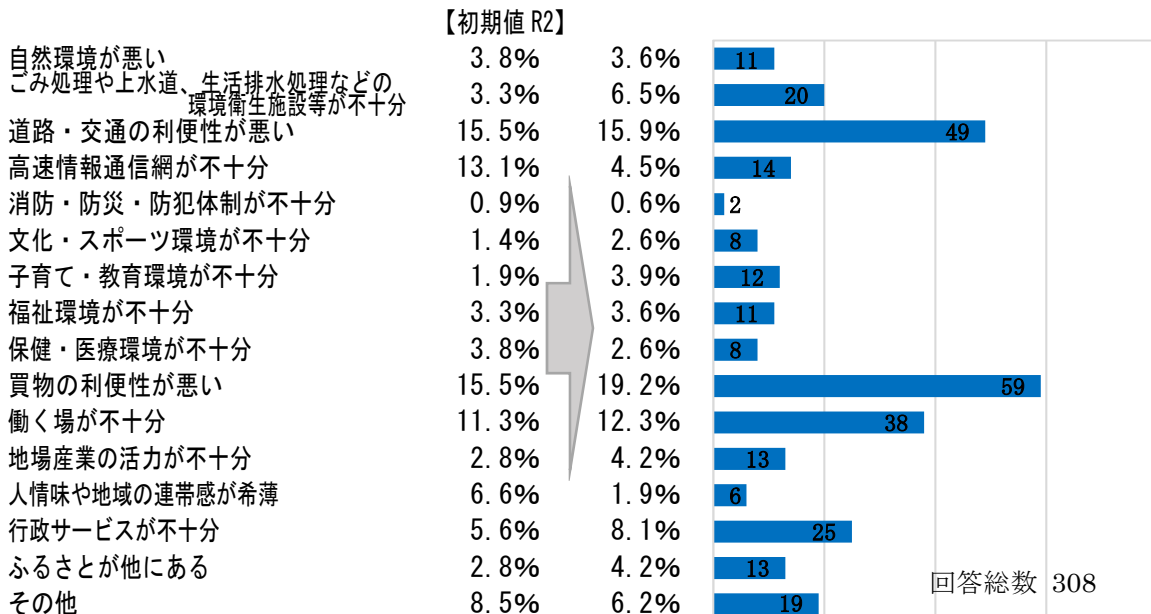


問4 あなたは、これからも大木町に住み続けたいと思いますか



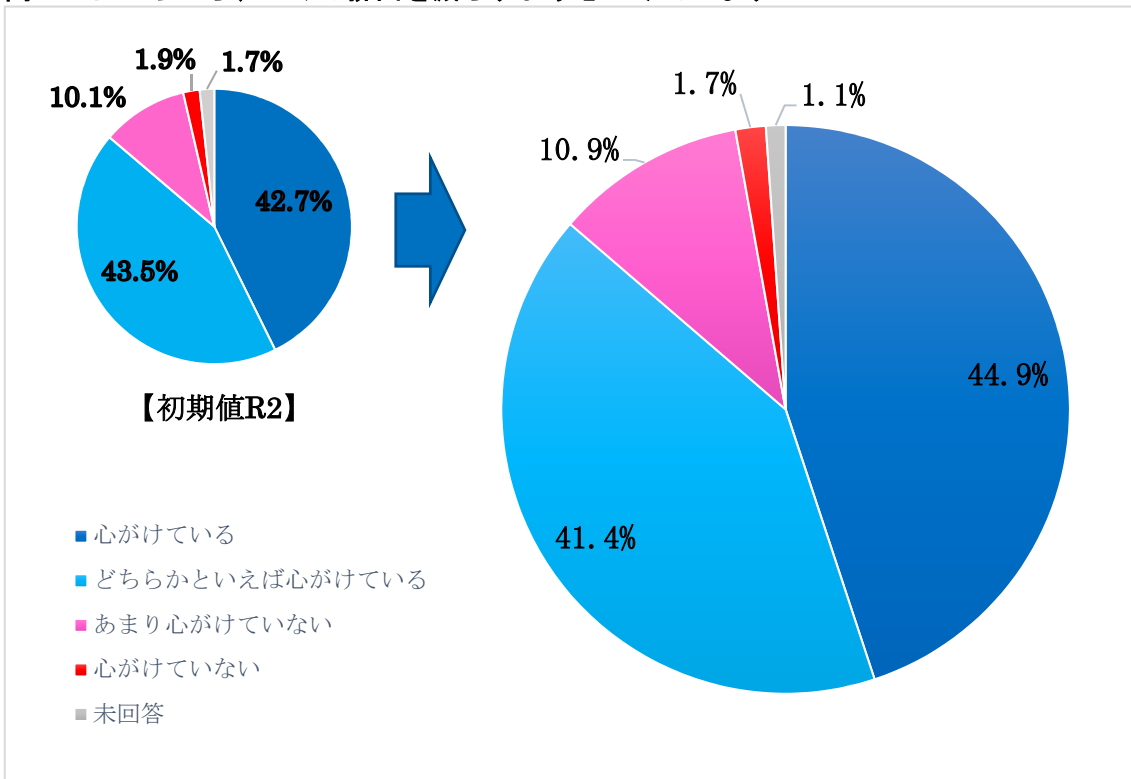
問4付問 その主な理由はなんですか（最大3つまで選択）

※問4で「どちらかといえば住みたくない」「住みたくない」選択者が回答（対象138）

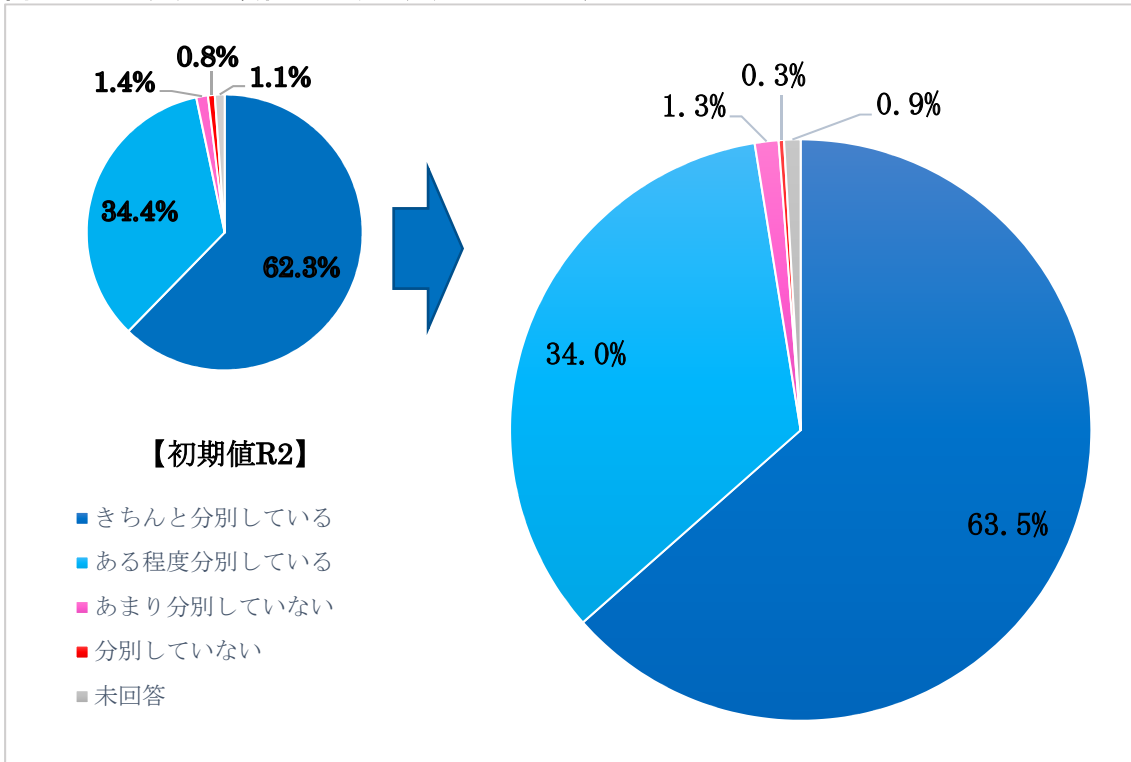


【ごみ・環境問題に関すること】

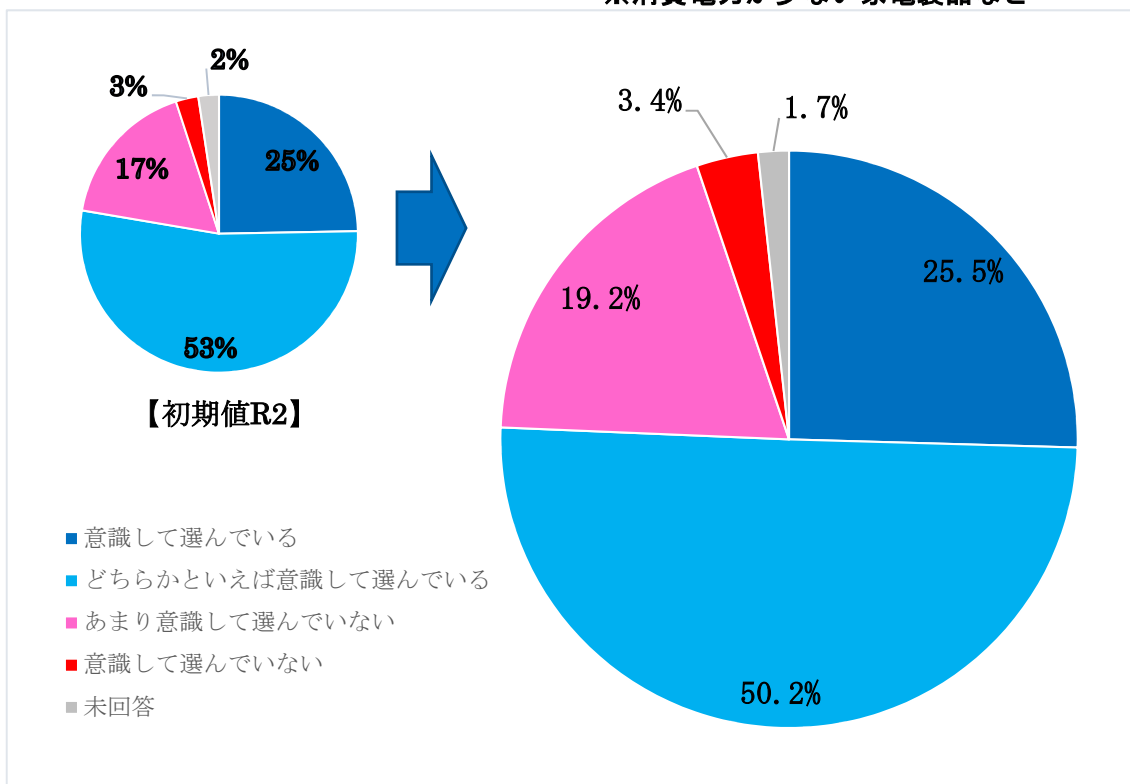
問5 日ごろから、ごみの排出を減らすよう心がけていますか



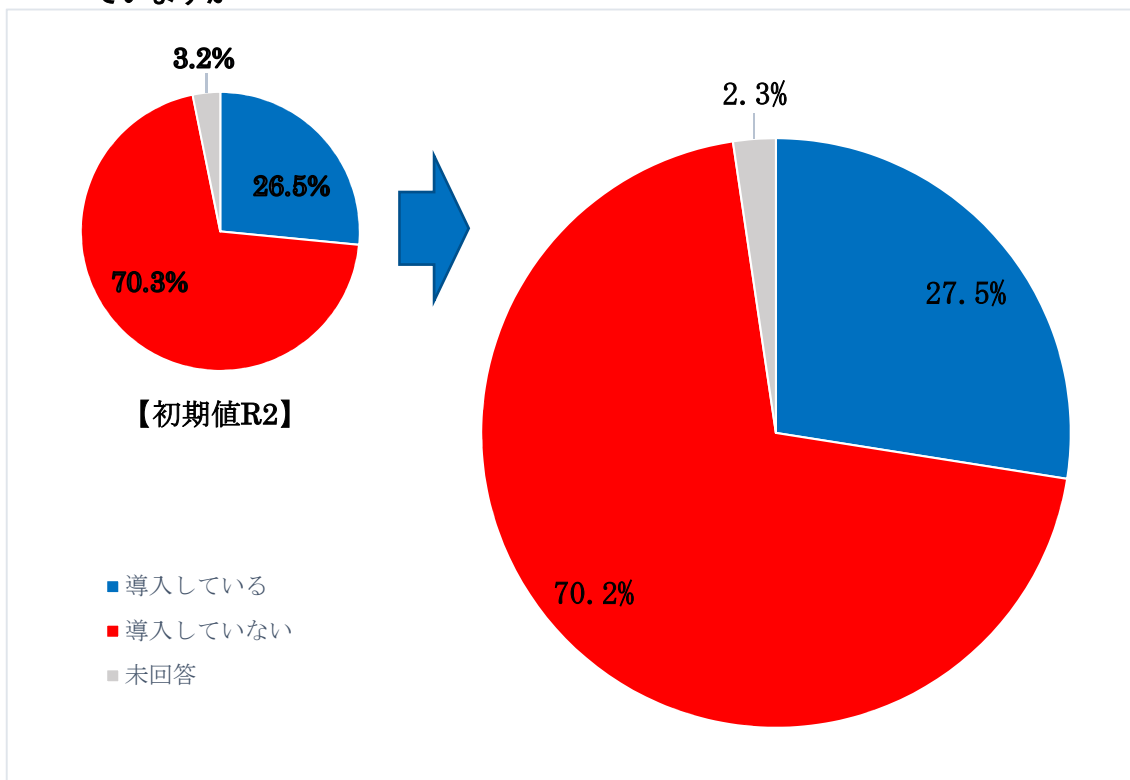
問6 ごみ分別の項目どおりに分別していますか



問7 意識して省エネ性能の良い製品を購入したり、買い換えたりしていますか
 ※消費電力が少ない家電製品など

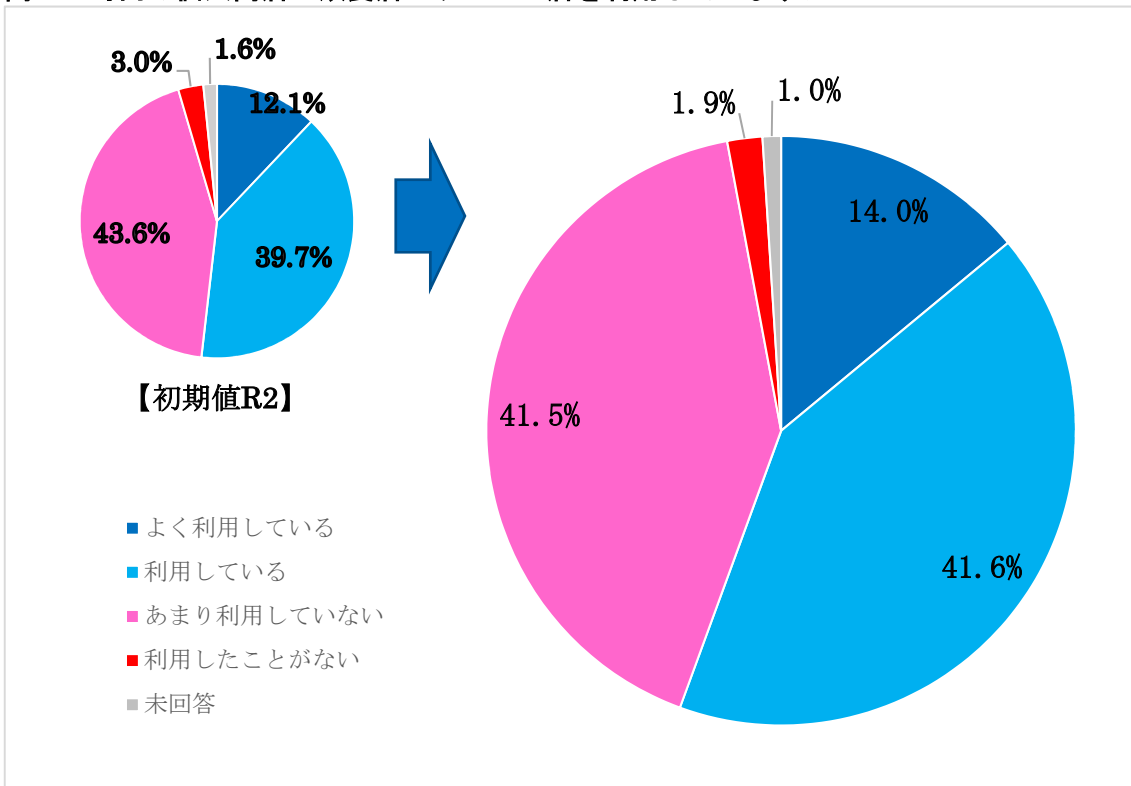


問8 太陽光、太陽熱、蓄電池、電気自動車などの再生可能エネルギー設備を何か導入していますか

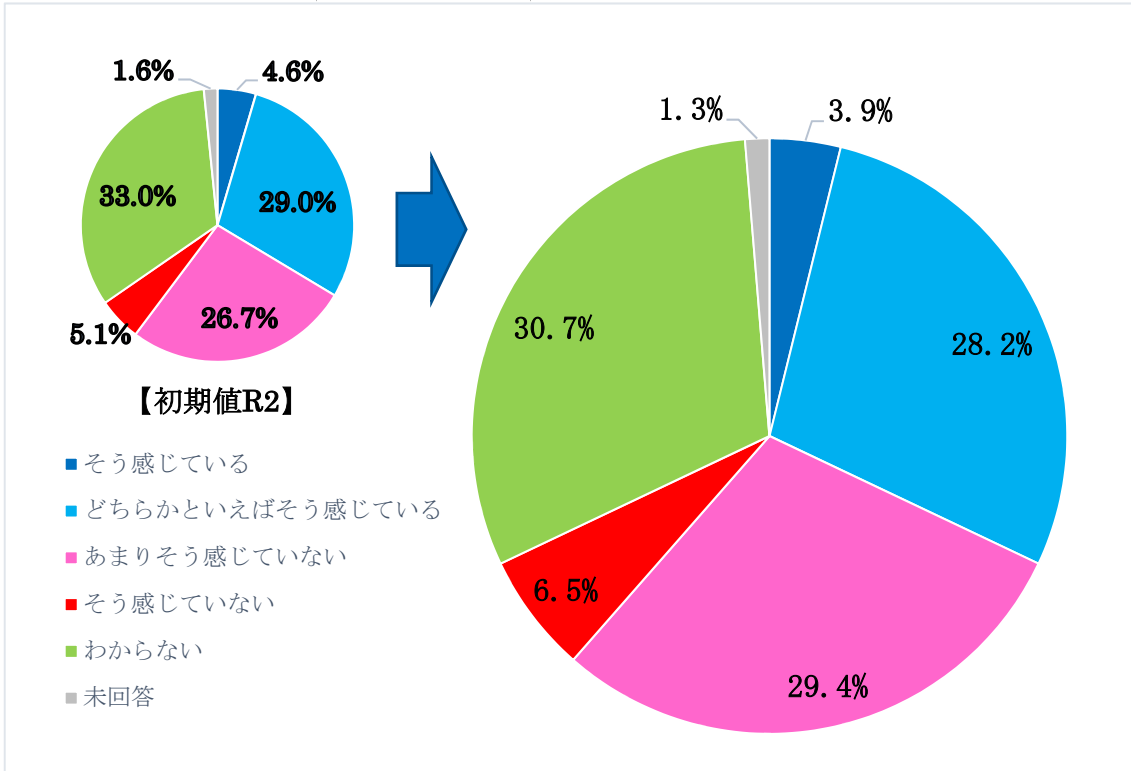


【産業・経済に関すること】

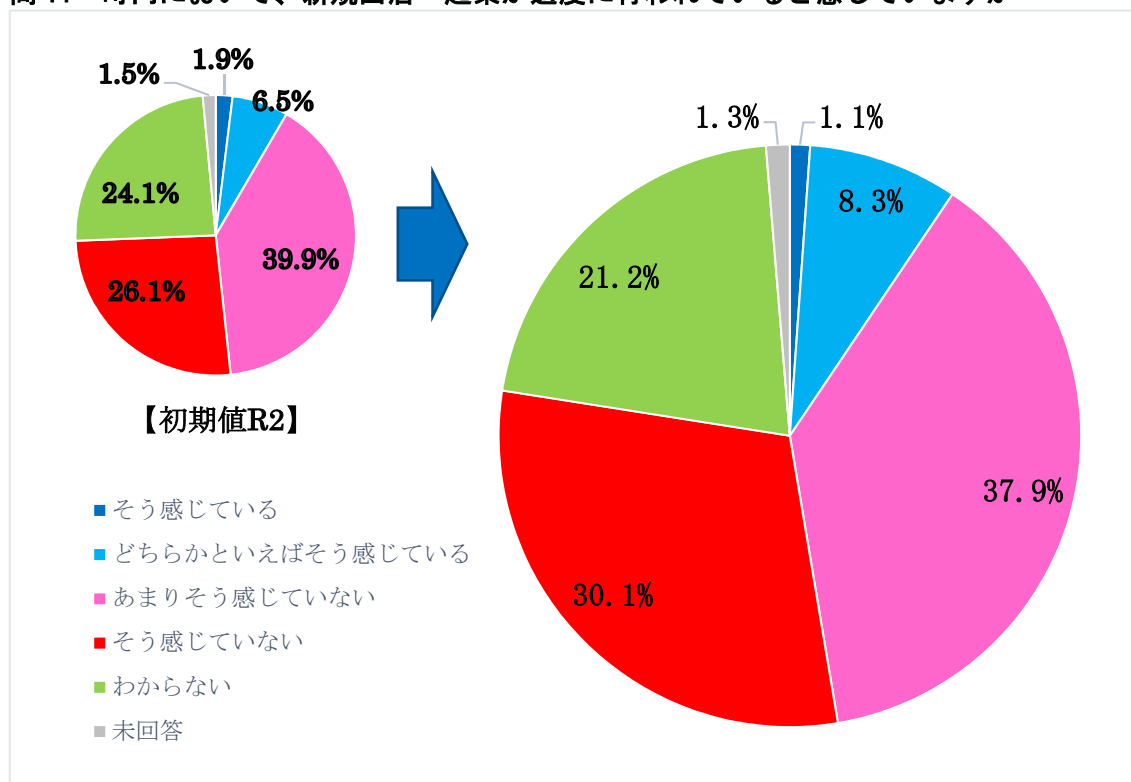
問9 町内の個人商店・飲食店・サービス店を利用していますか



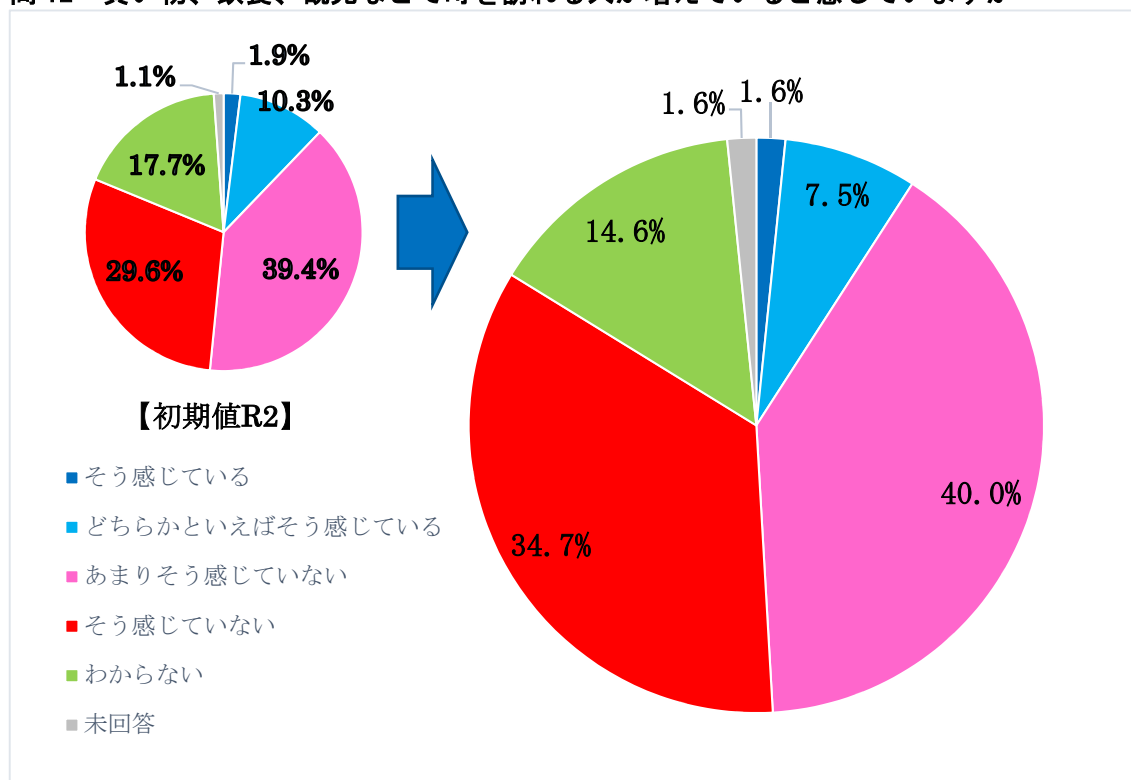
問10 町内の商工業企業、事業者について、安定した経営が行われていると感じていますか



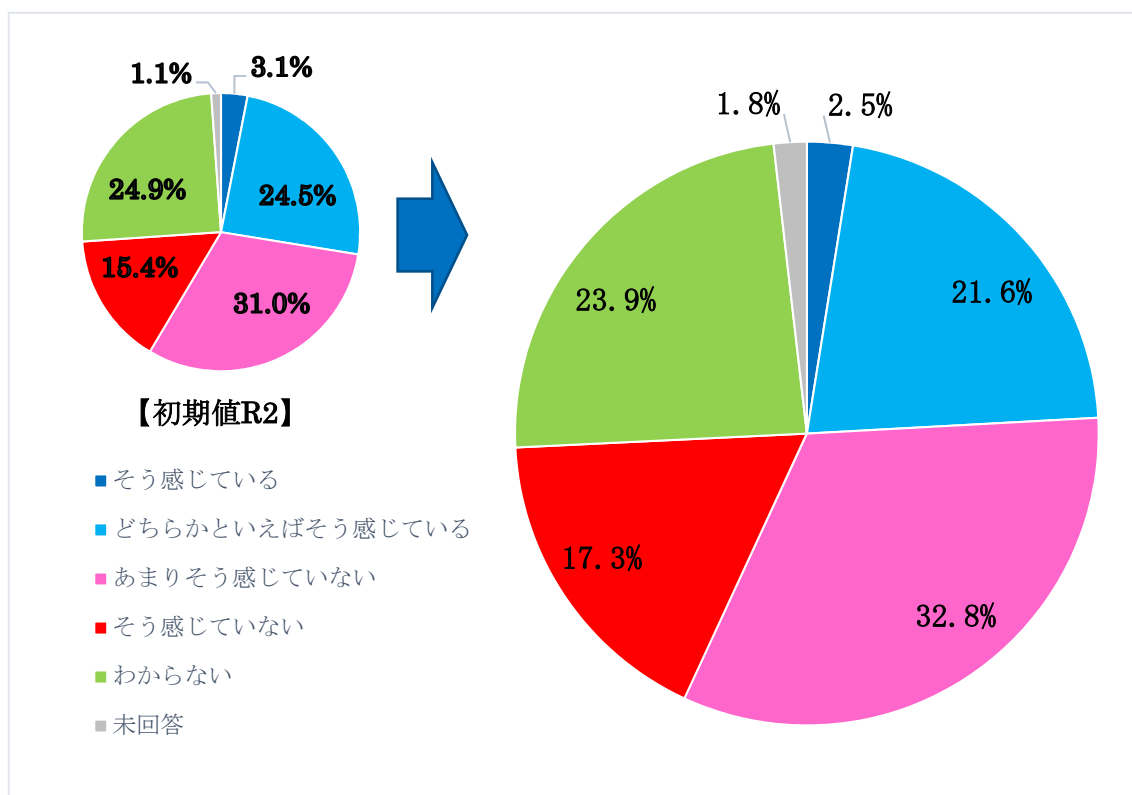
問 11 町内において、新規出店・起業が適度に行われていると感じていますか



問 12 買い物、飲食、観光などで町を訪れる人が増えていると感じていますか

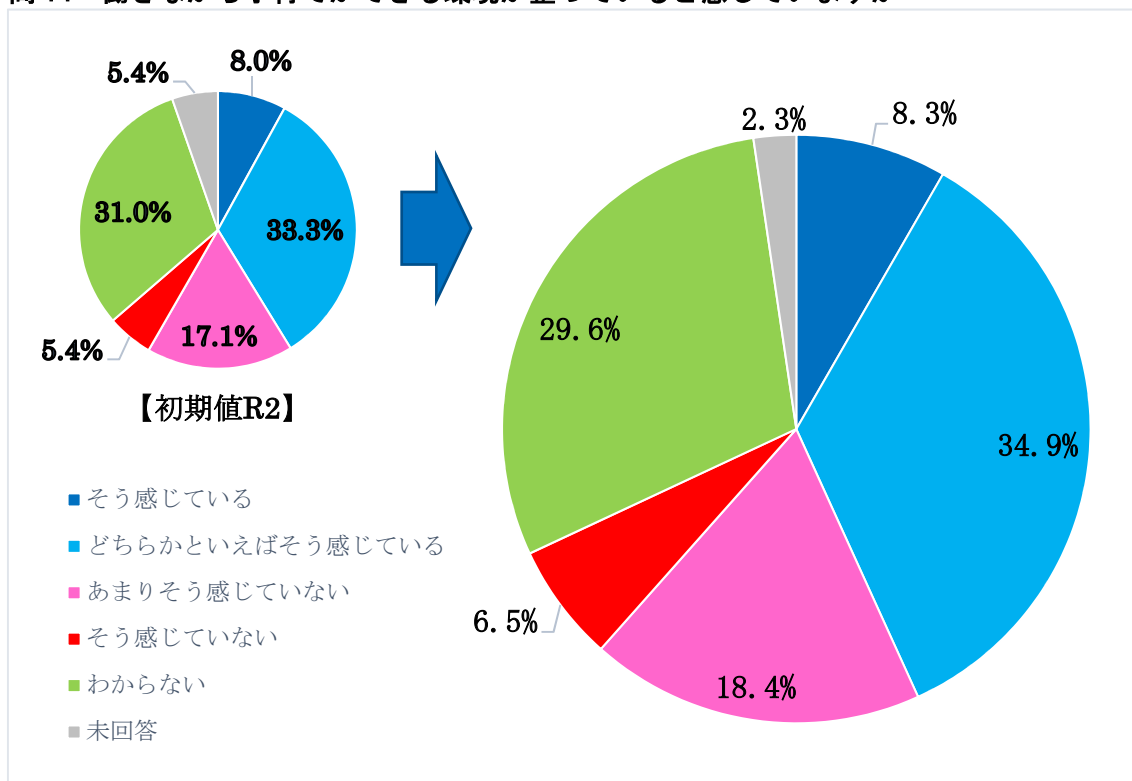


問 13 転入した人が地域活動によく関わり、地元の住民と交流ができていると感じていますか
 (転入した人、地元の人、双方の側からの回答)

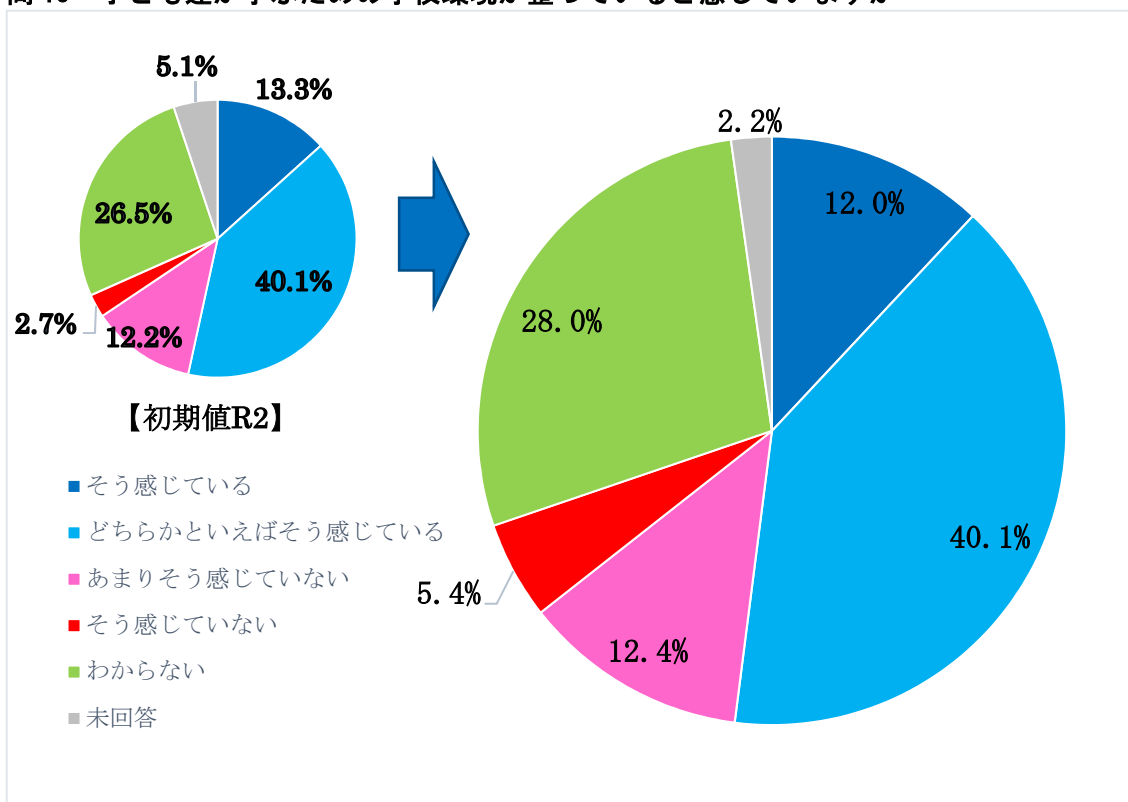


【子育て・子どもの教育に関すること】

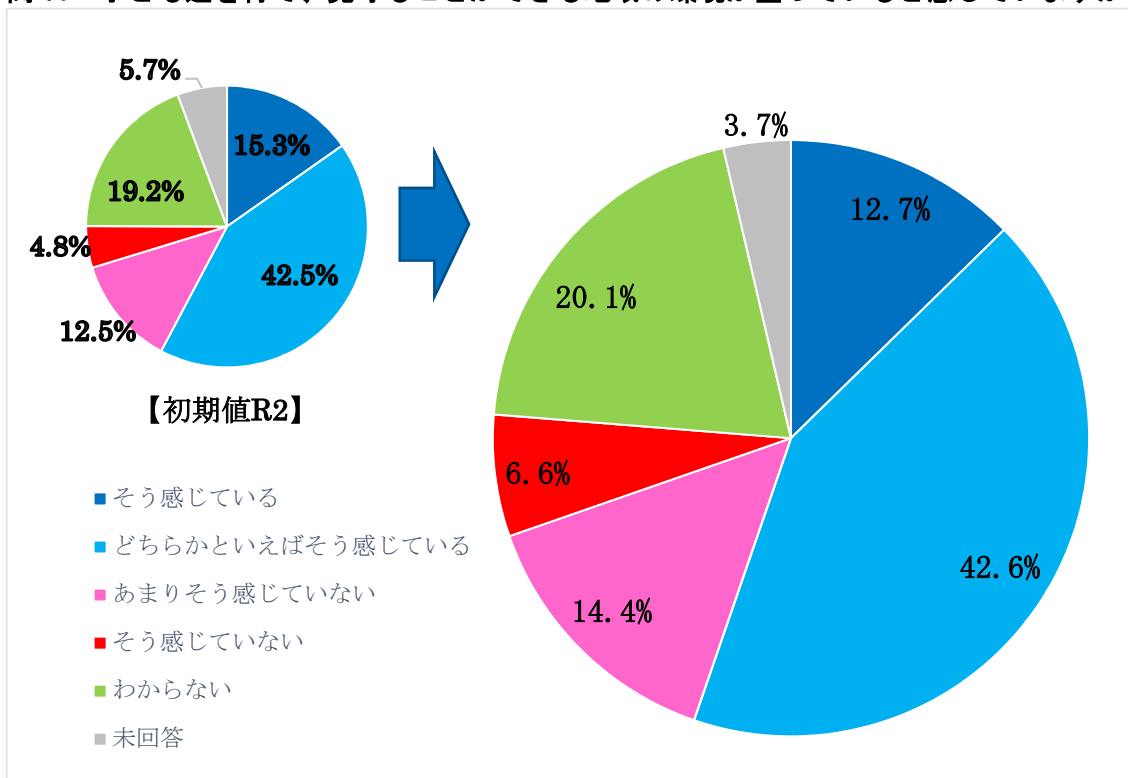
問 14 働きながら子育てができる環境が整っていると感じていますか



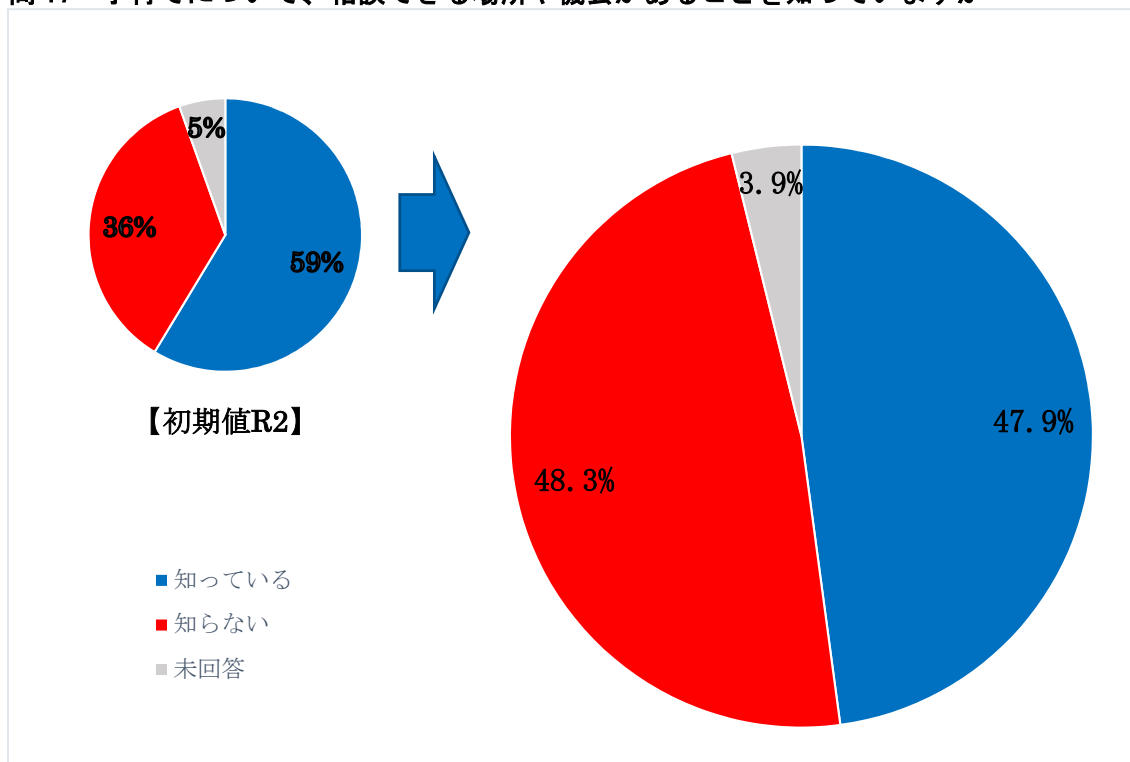
問 15 子ども達が学ぶための学校環境が整っていると感じていますか



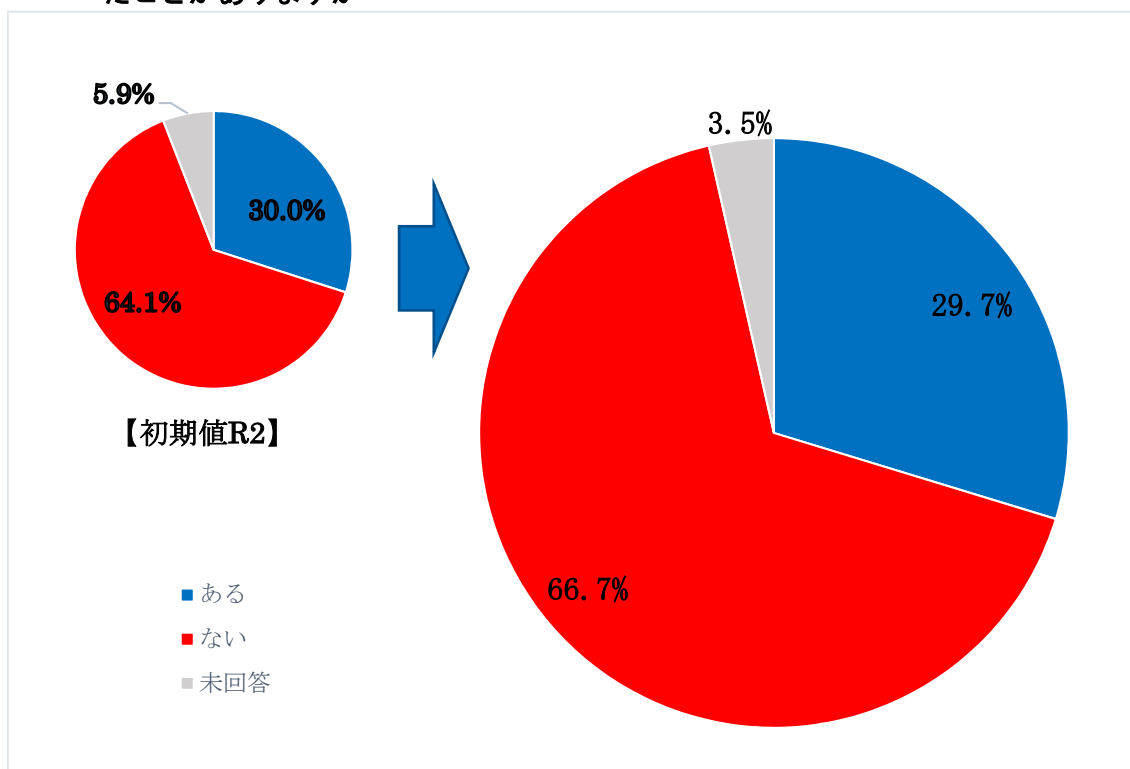
問 16 子ども達を育て、見守ることができる地域の環境が整っていると感じていますか



問 17 子育てについて、相談できる場所や機会があることを知っていますか

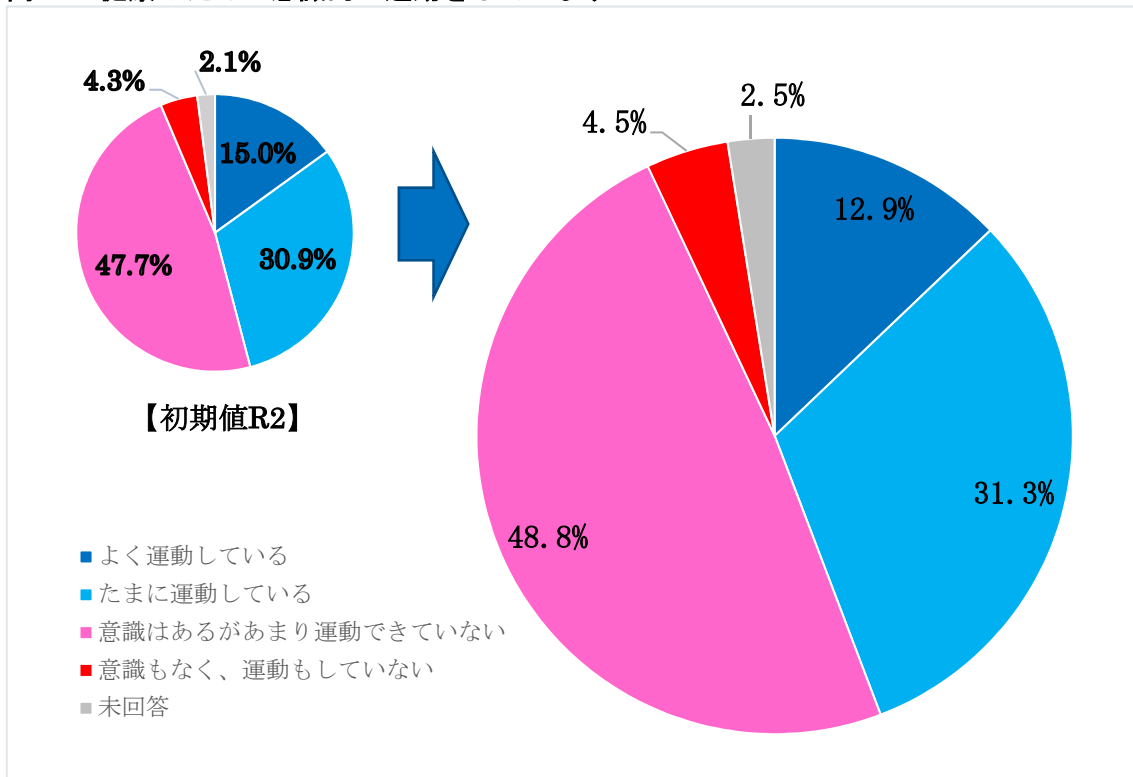


問 18 過去1年間に、学校や地域で行われる子どもの育成活動に、なんらかの形で関わったことがありますか

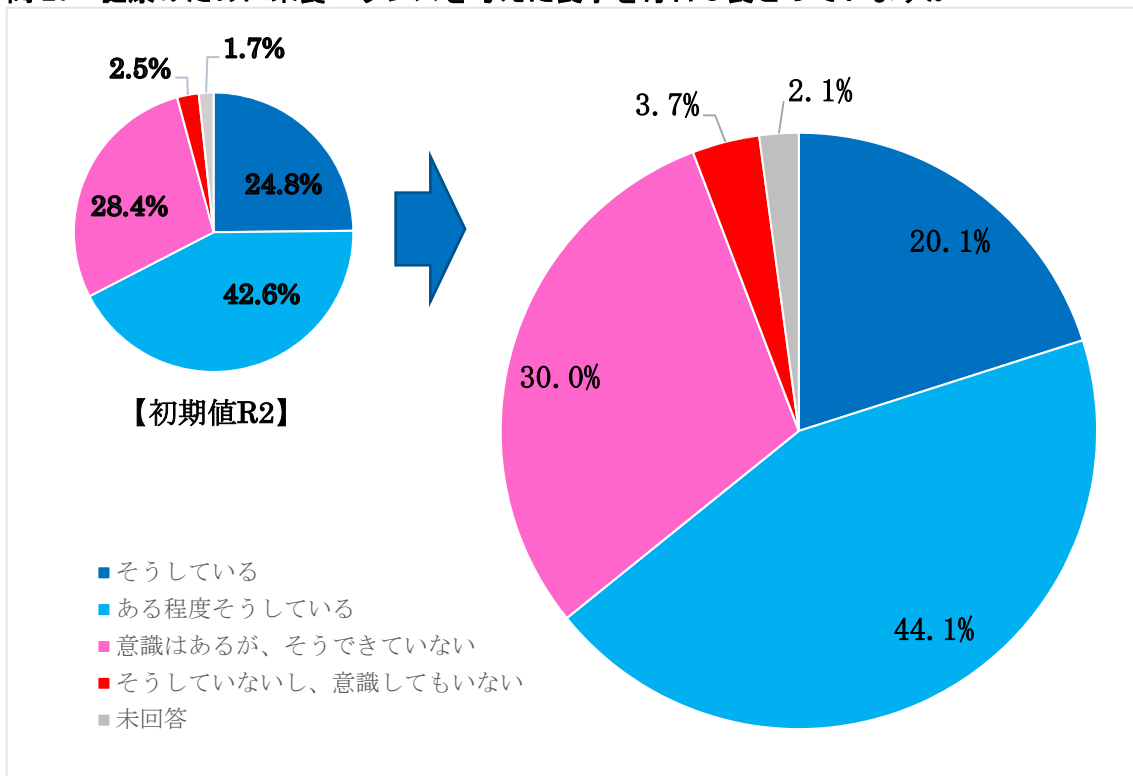


【健康・福祉に関すること】

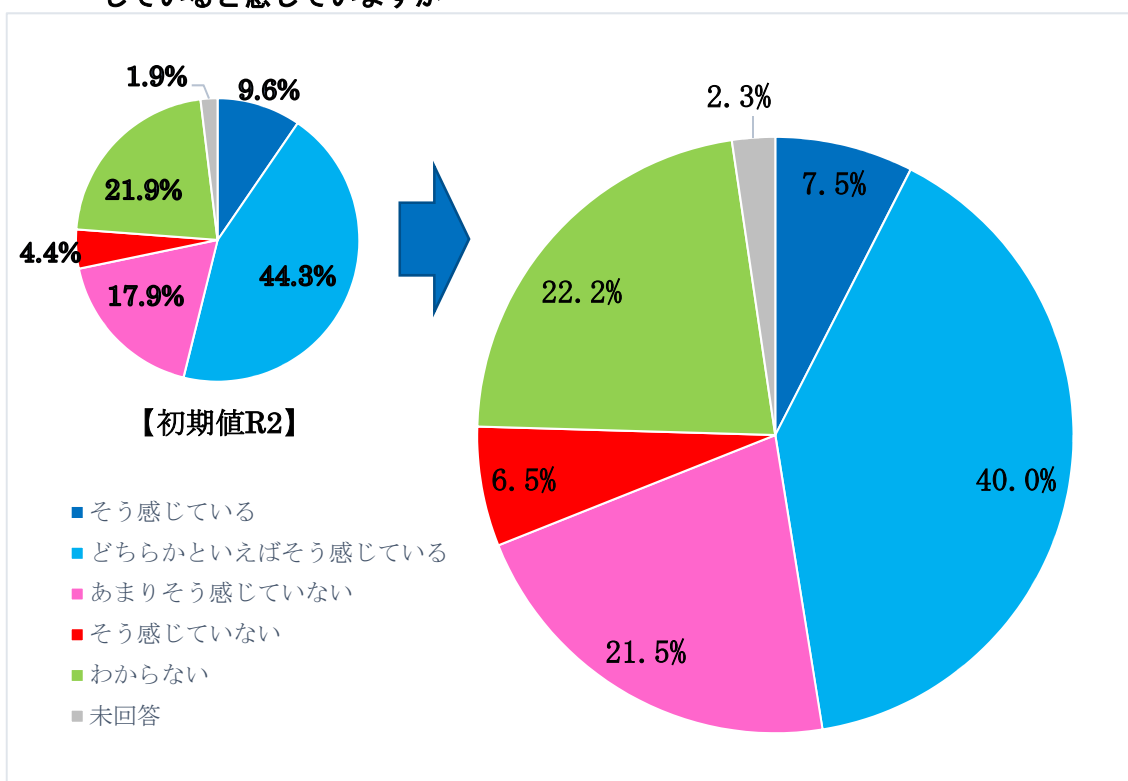
問 19 健康のために意識的に運動をしていますか



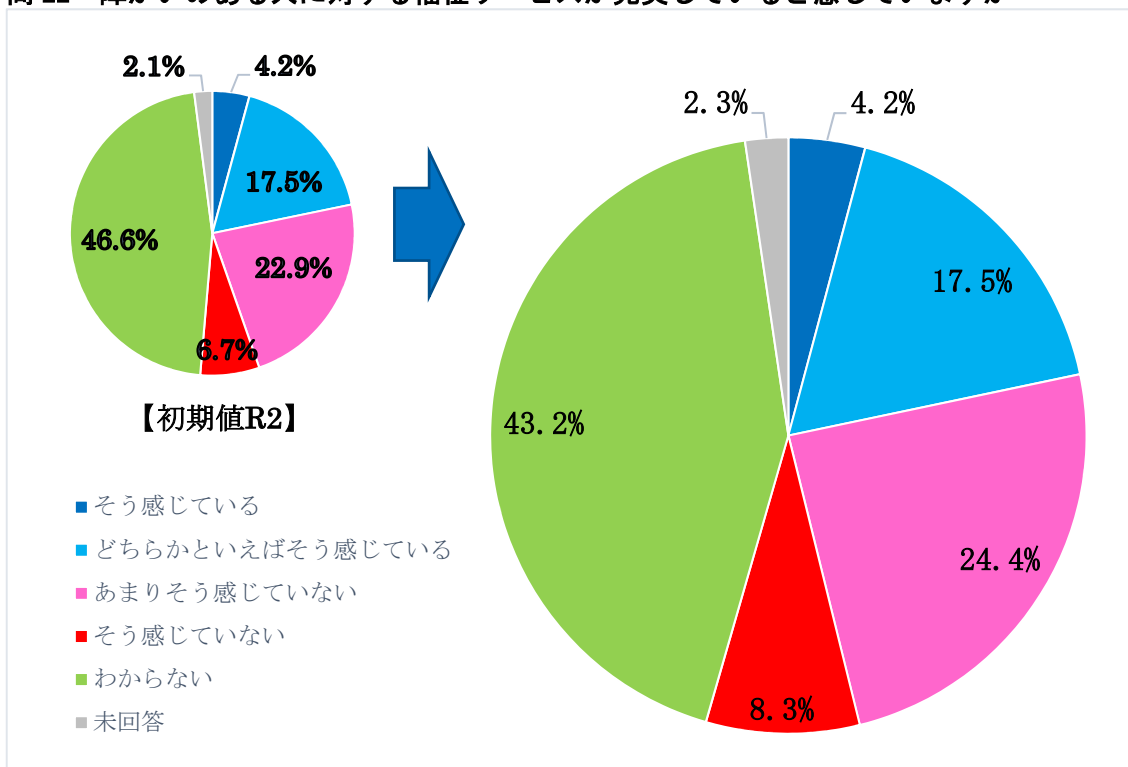
問 20 健康のために栄養バランスを考えた食事を毎日3食とっていますか



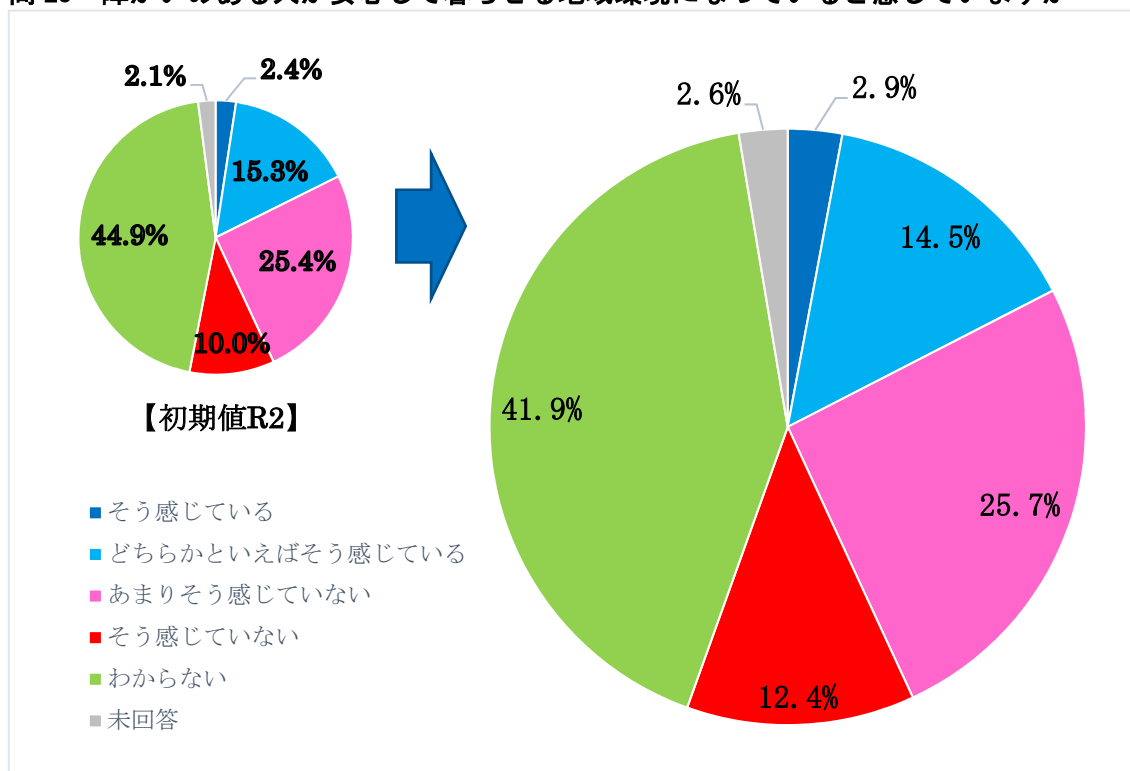
問 21 地域活動、文化スポーツ活動、就労など町のさまざまな分野で高齢者が元気に活躍していると感じていますか



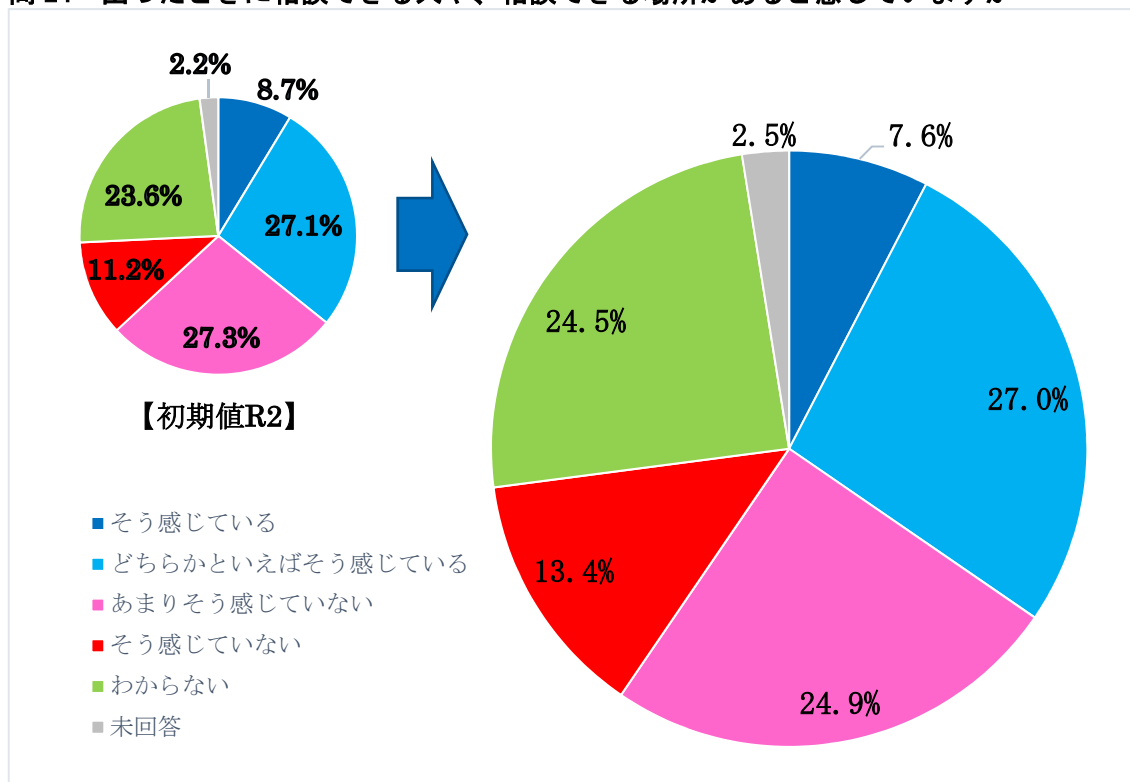
問 22 障がいのある人に対する福祉サービスが充実していると感じていますか



問 23 障がいのある人が安心して暮らせる地域環境になっていると感じていますか

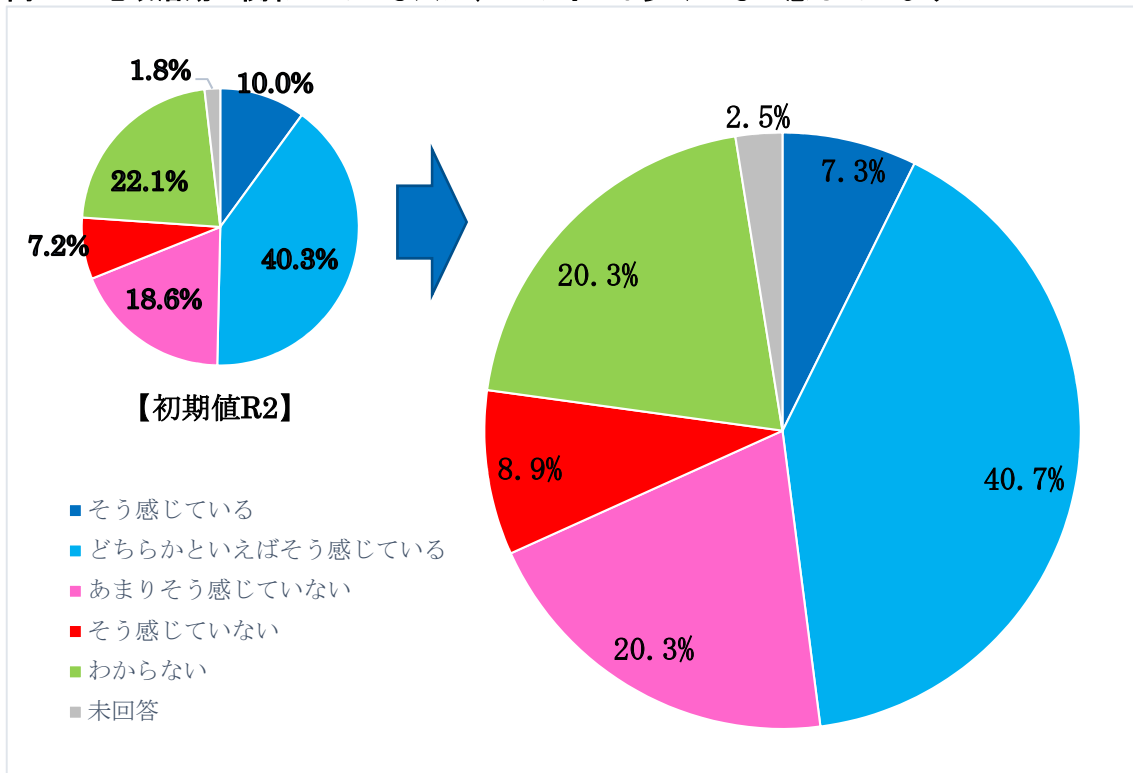


問 24 困ったときに相談できる人や、相談できる場所があると感じていますか

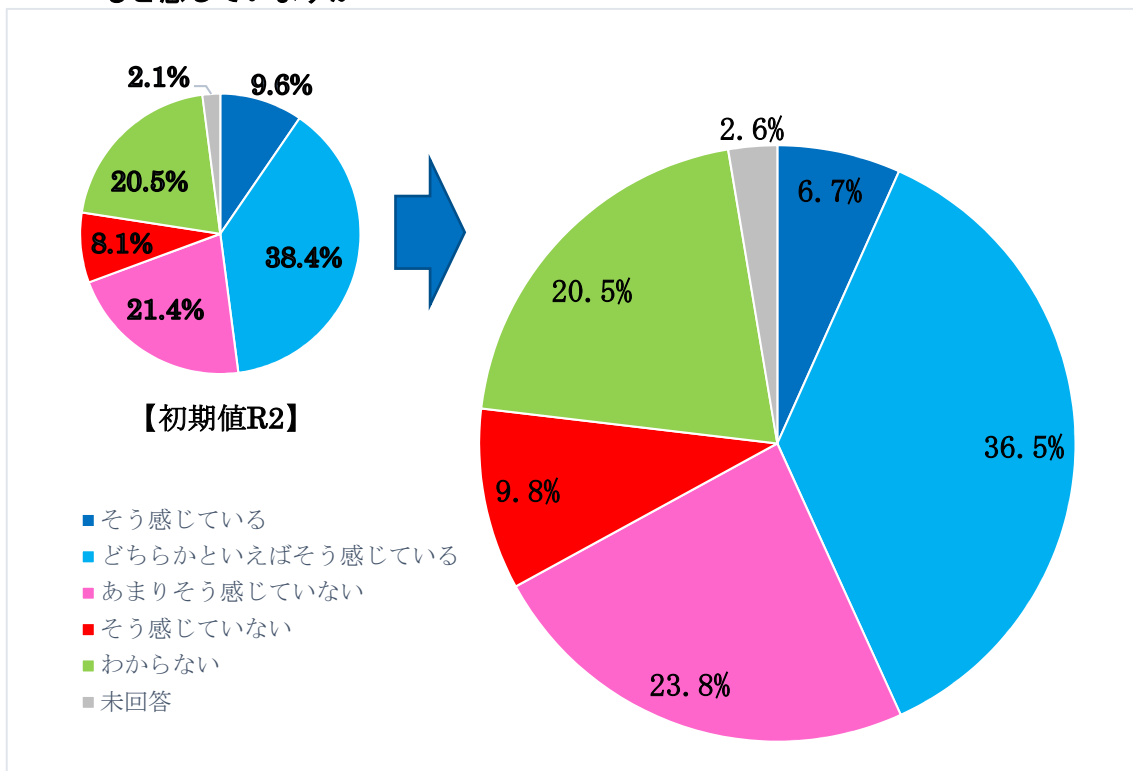


【地域・暮らし・文化に関すること】

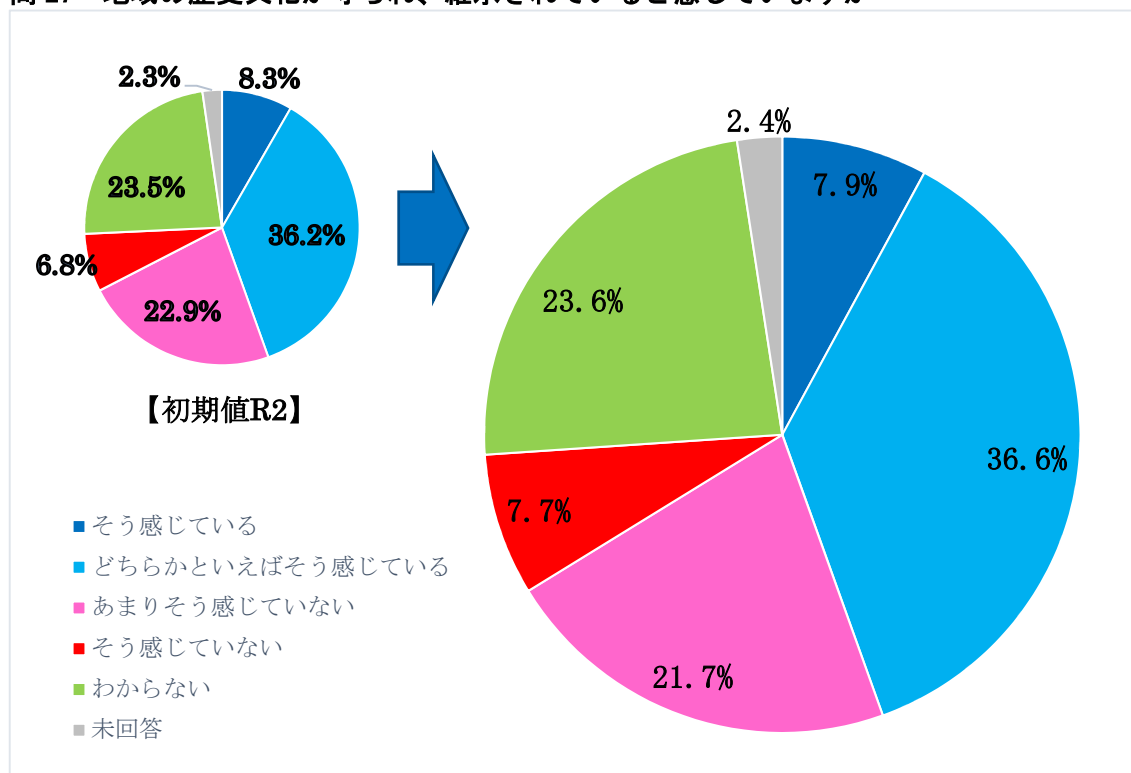
問 25 地域活動に関わっている人が、この町には多くいると感じていますか



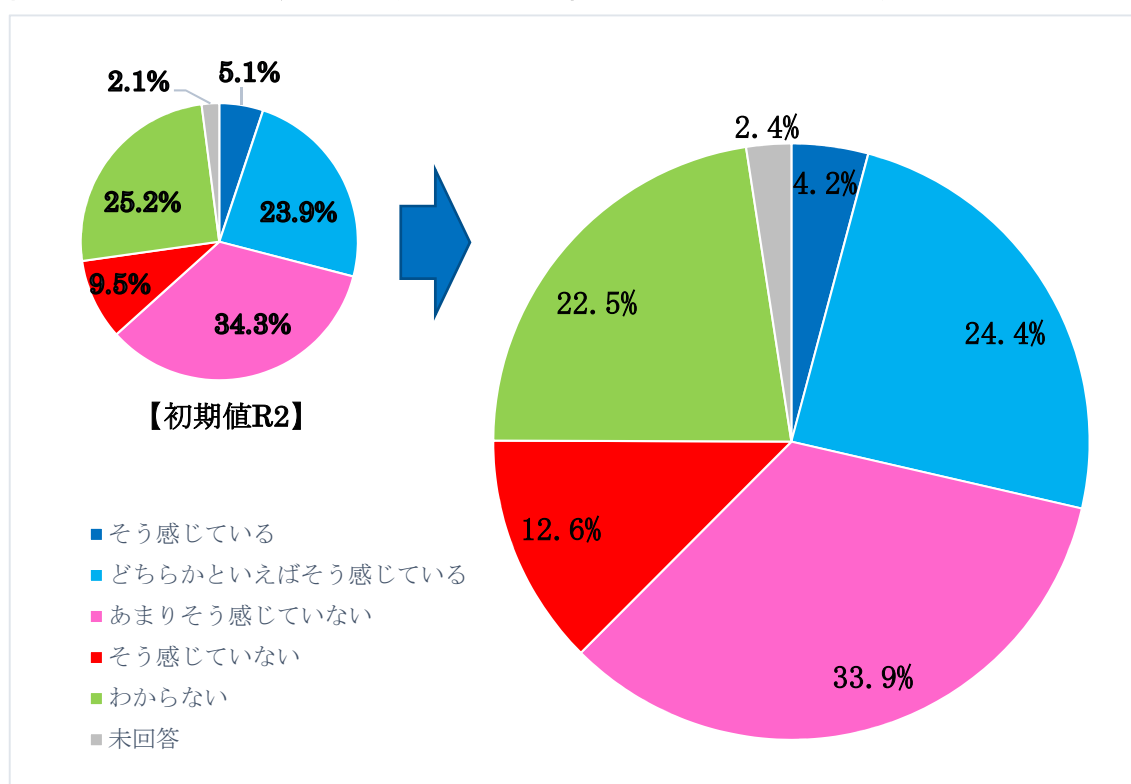
問 26 校区や行政区において、地域住民による自主的、主体的な地域づくりが行われていると感じていますか



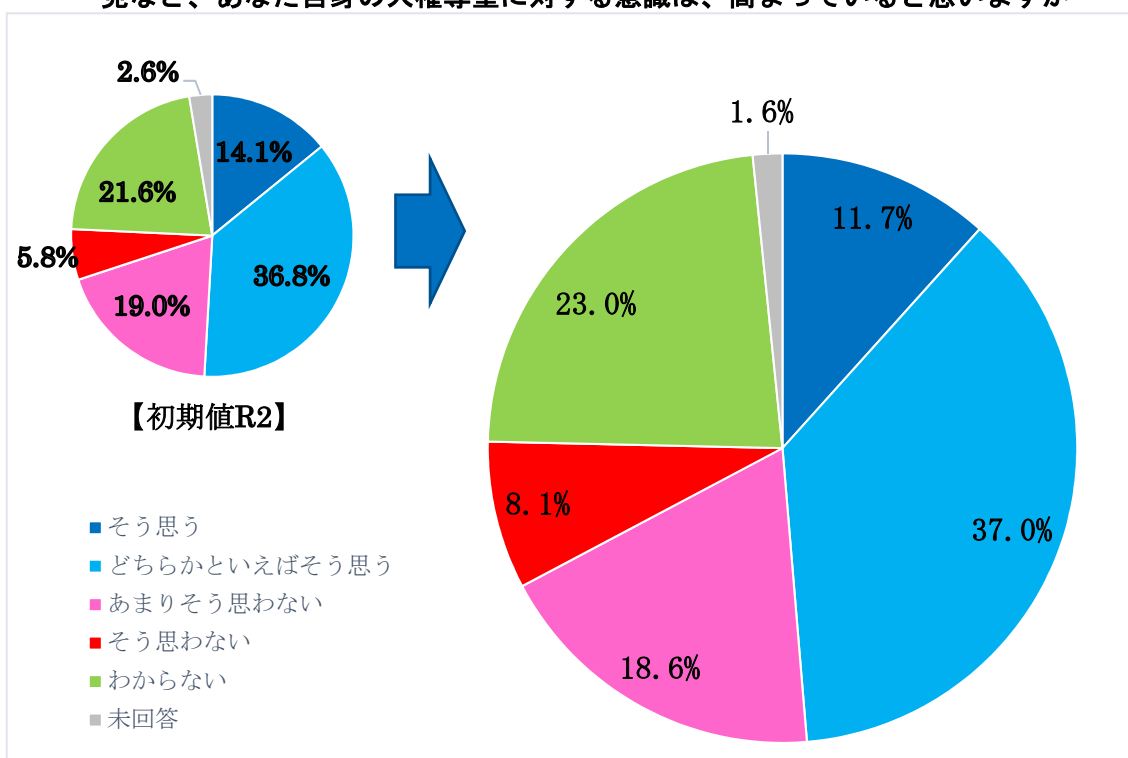
問 27 地域の歴史文化が守られ、継承されていると感じていますか



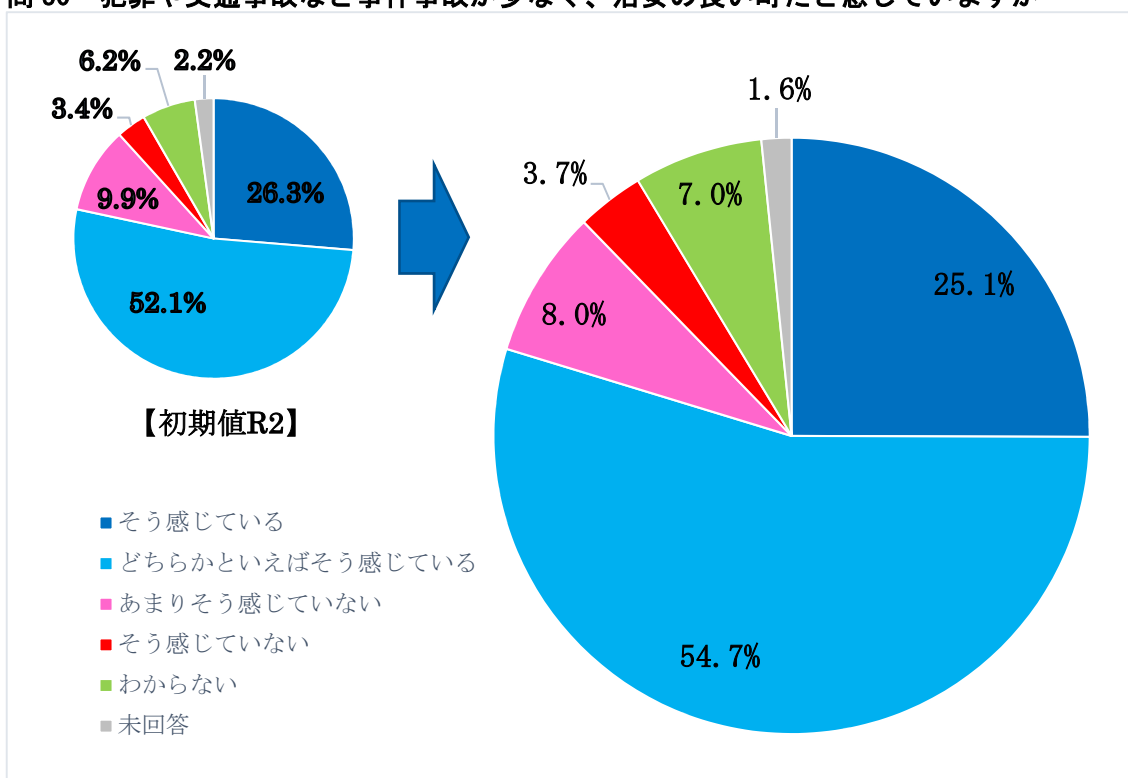
問 28 女性や若者が、町や地域のなかで活躍していると感じていますか



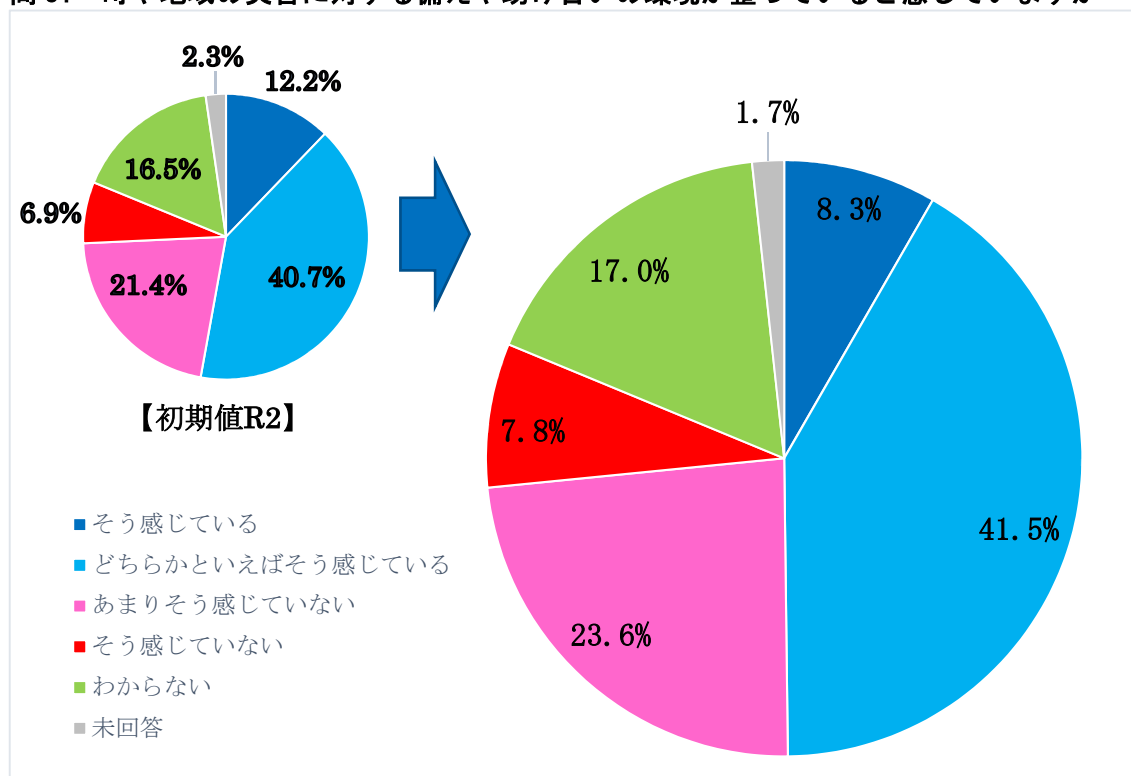
問 29 同和問題や女性・子ども・高齢者・障がいのある人・外国人などに対する差別・偏見など、あなた自身の人権尊重に対する意識は、高まっていると思いますか



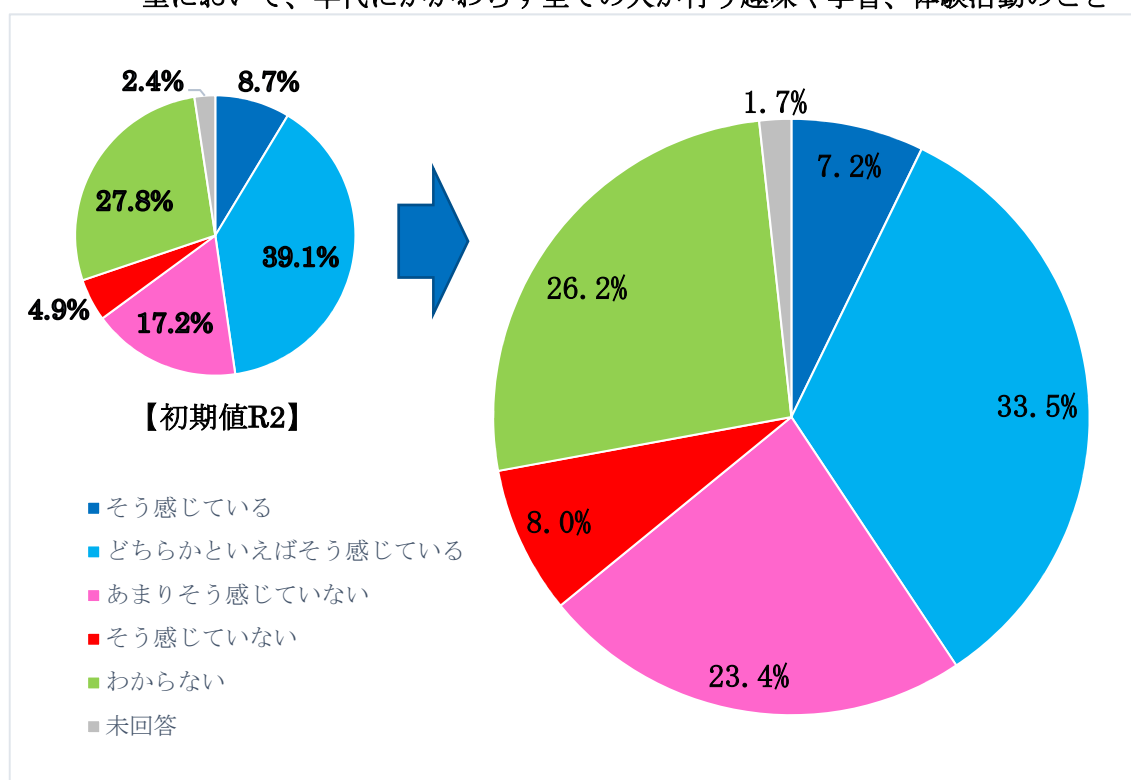
問 30 犯罪や交通事故など事件事故が少なく、治安の良い町だと感じていますか



問 31 町や地域の災害に対する備えや助け合いの環境が整っていると感じていますか

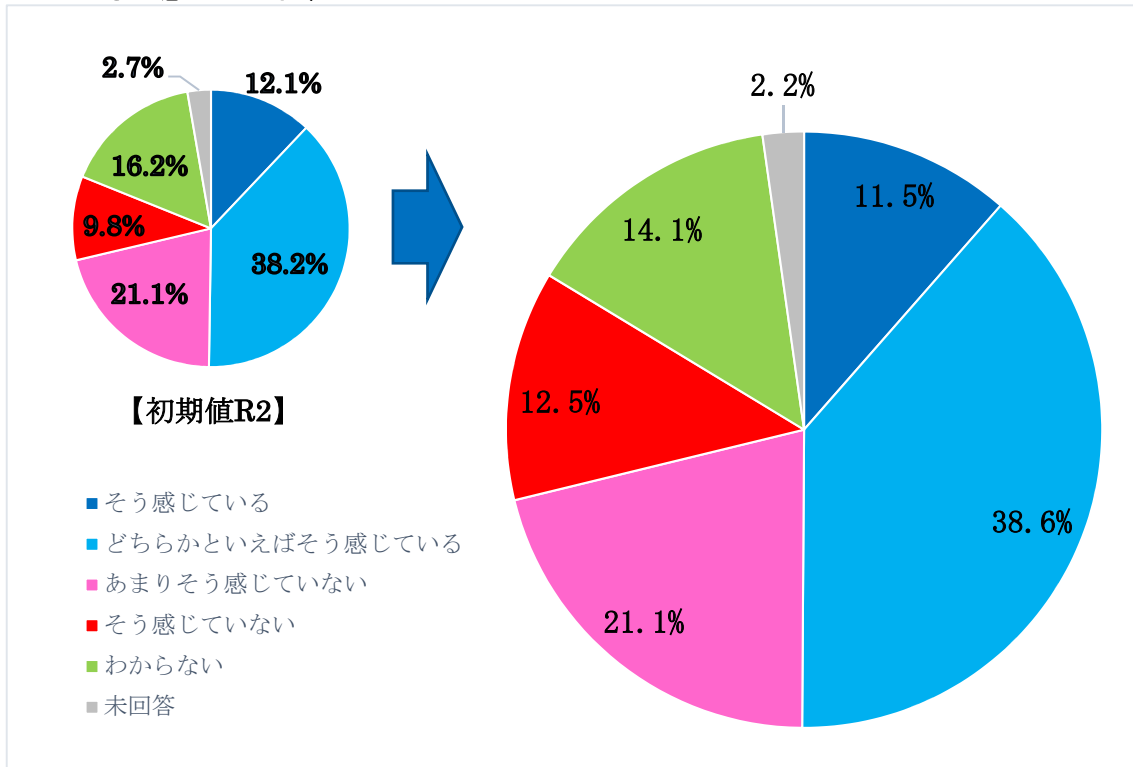


問 32 文化面、スポーツ面の生涯学習活動が充実して行われていると感じていますか
 ※「生涯学習活動」…町の実施事業のほか、クラブ・サークル活動、民間の各種教室において、年代にかかわらず全ての人が行う趣味や学習、体験活動のこと

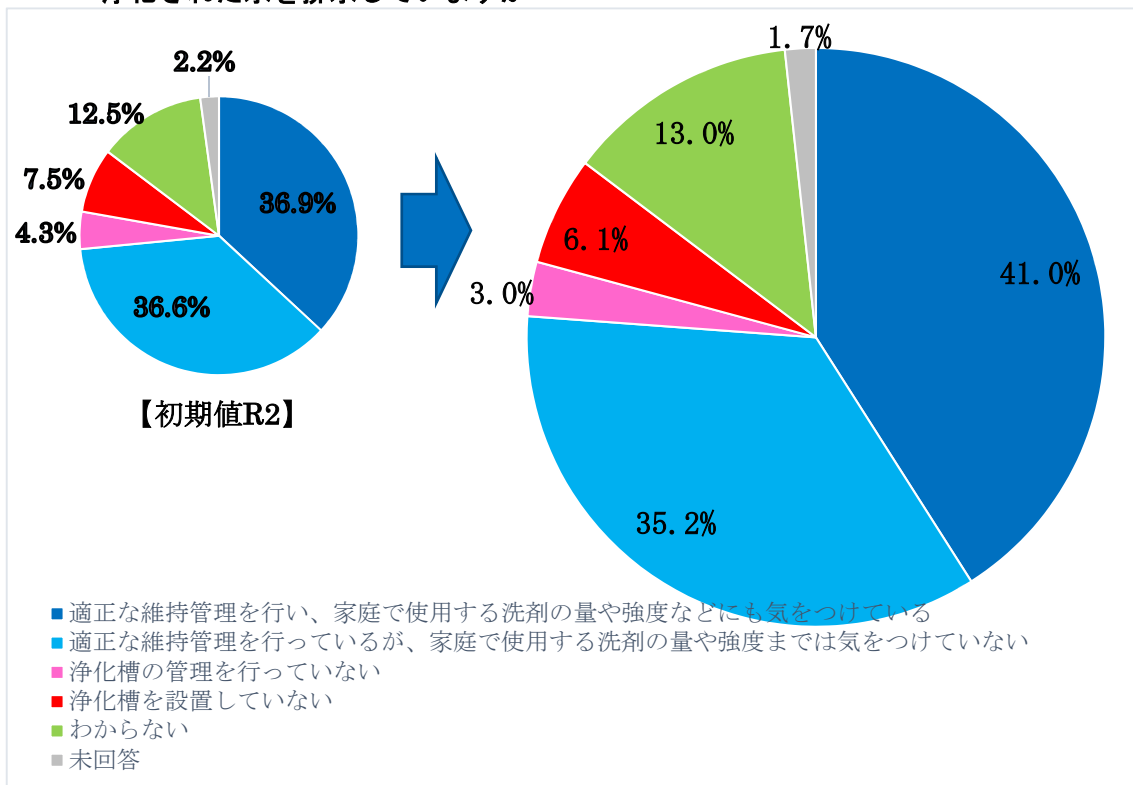


【景観・生活インフラに関すること】

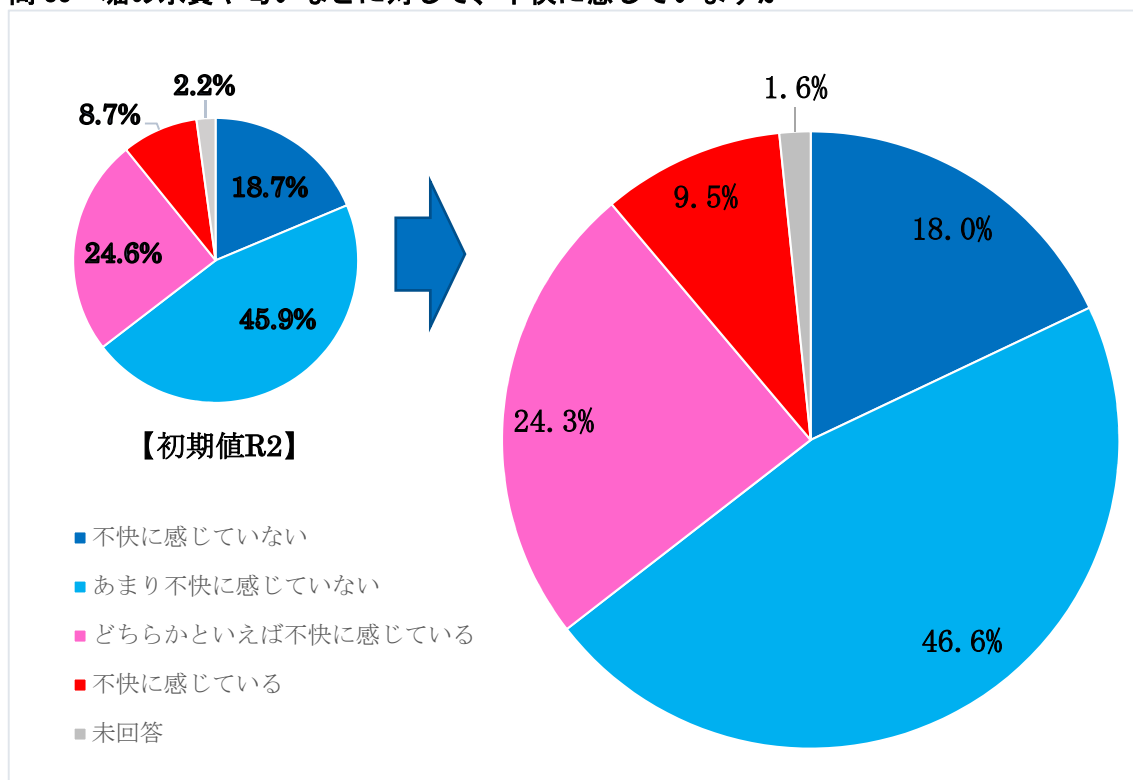
問 33 堀のある町の自然風景が守られながら、適度な宅地造成などの開発が行われていると感じていますか



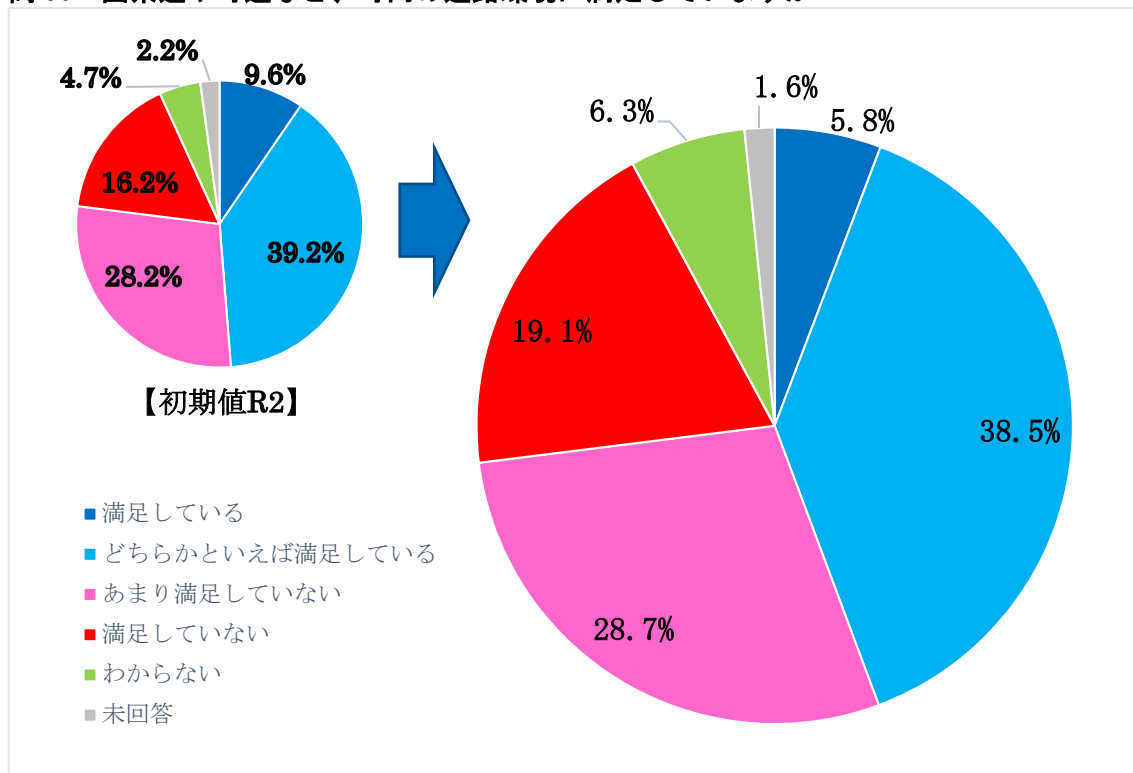
問 34 浄化槽の適正な維持管理（浄化槽維持管理協会加入による管理委託など）を行い、浄化された水を排水していますか



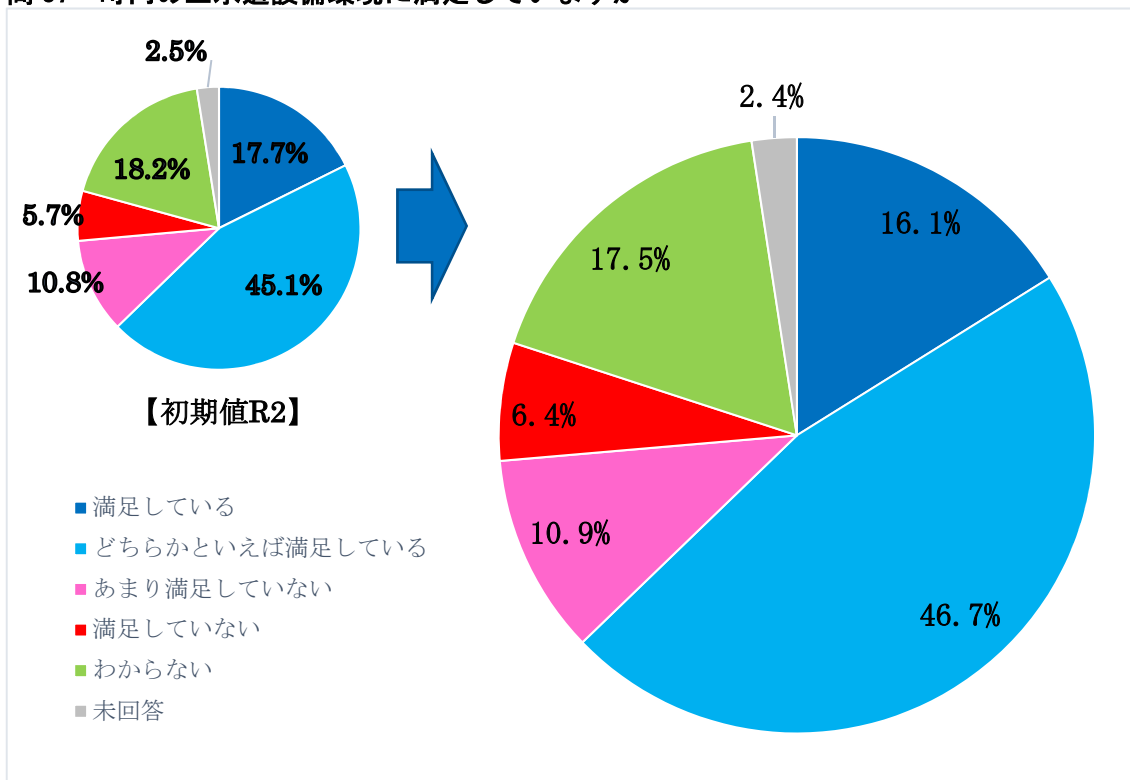
問 35 堀の水質や匂いなどに対して、不快に感じていますか



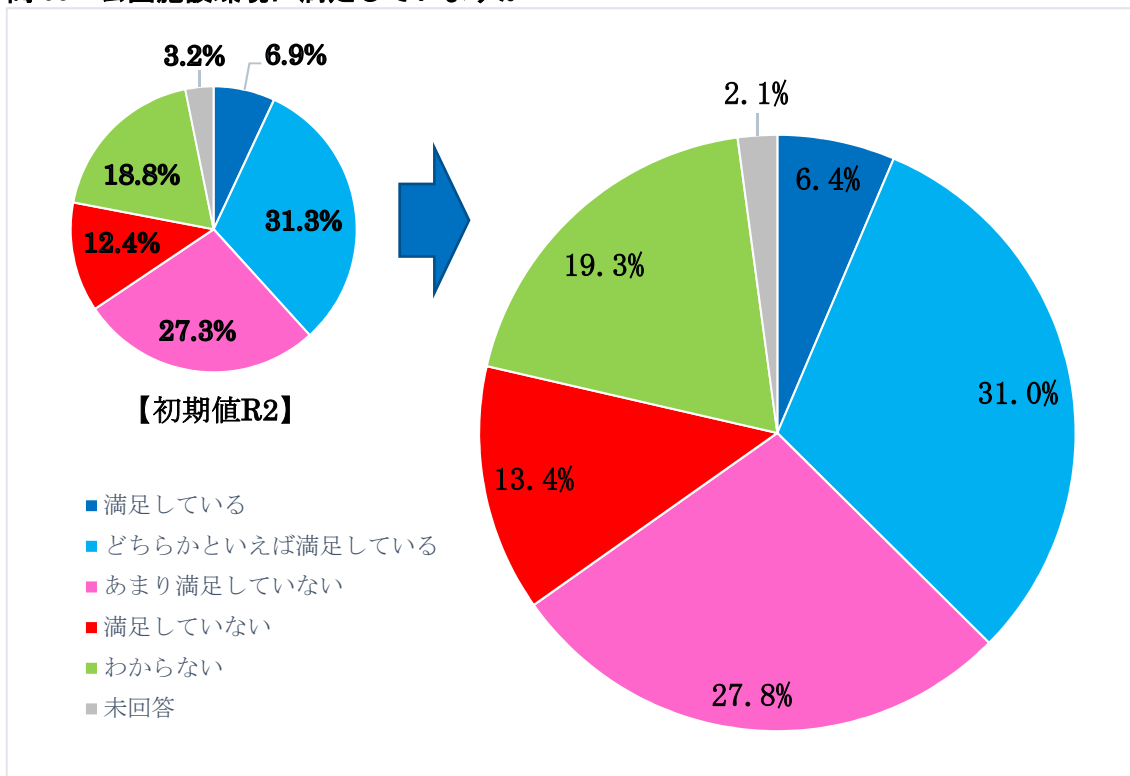
問 36 国県道や町道など、町内の道路環境に満足していますか



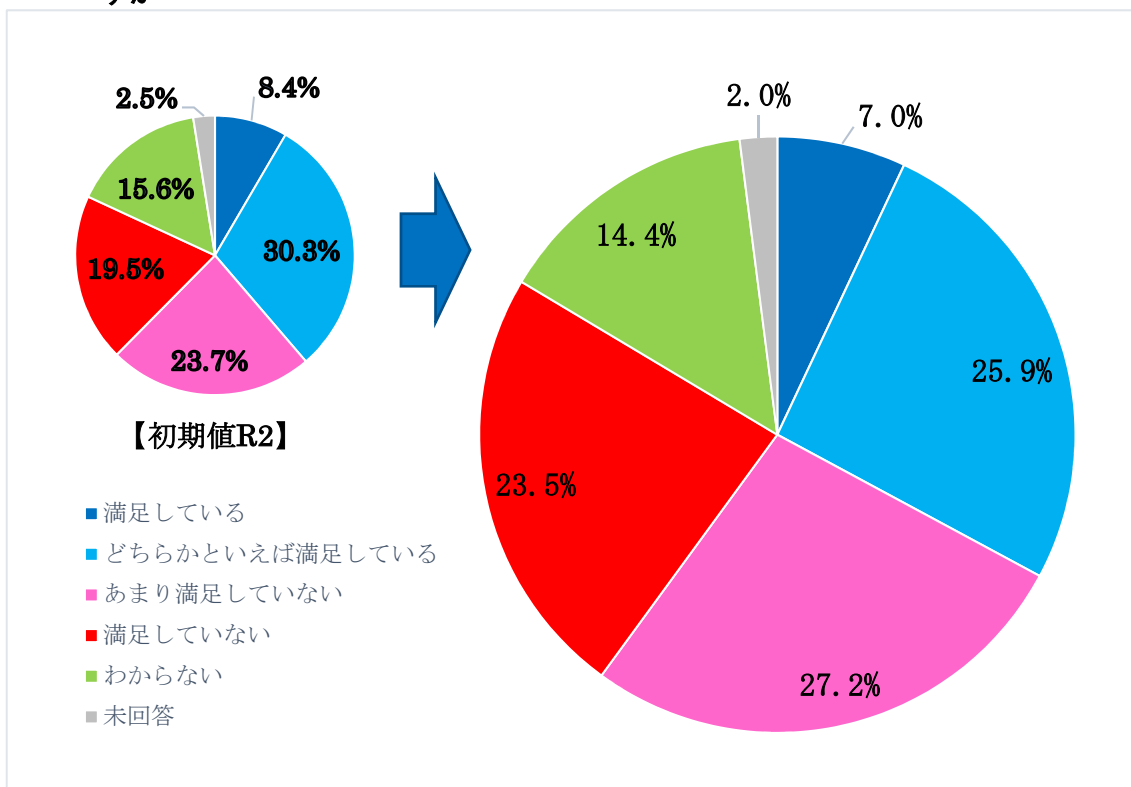
問 37 町内の上水道設備環境に満足していますか



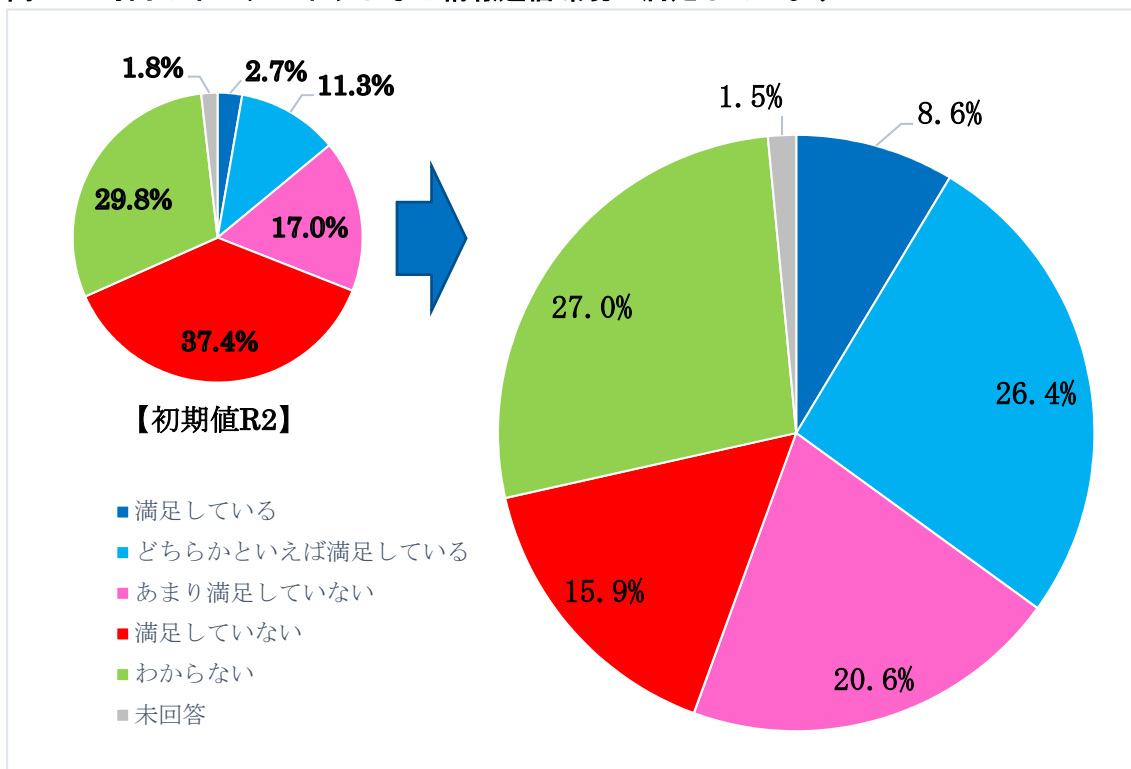
問 38 公園施設環境に満足していますか



問 39 町内の電車、バスの公共交通環境や、町内の地域間の移動手段環境に満足していますか

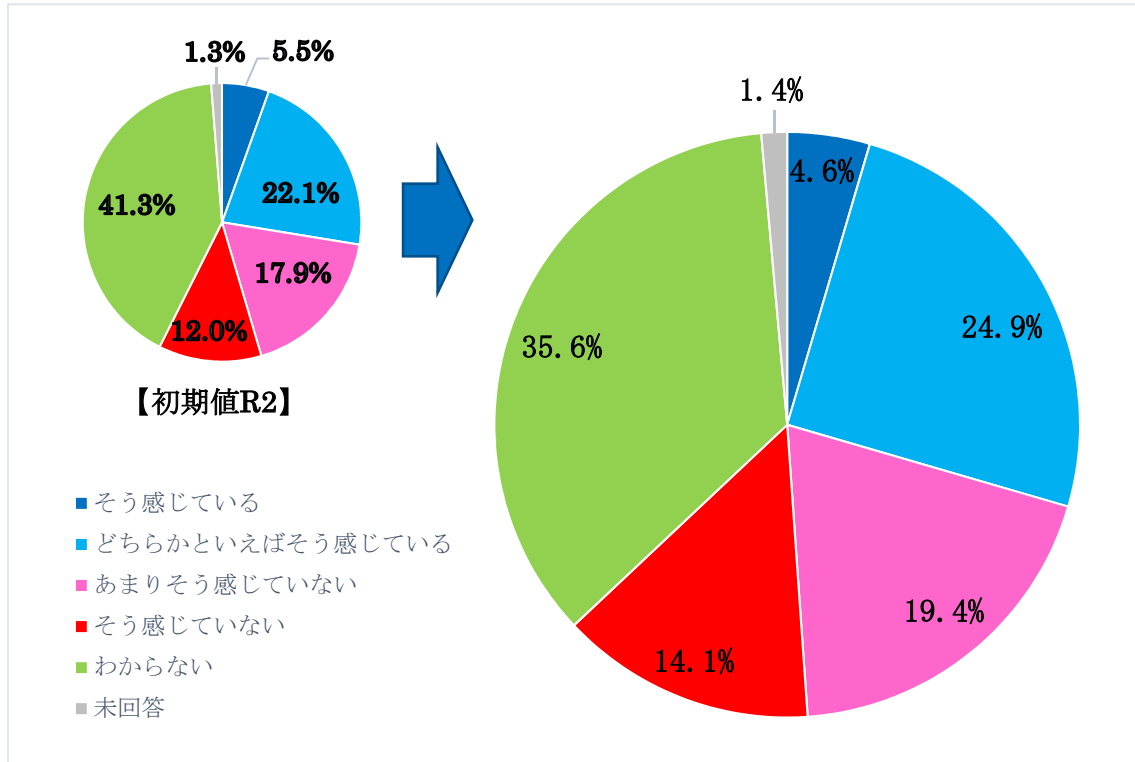


問 40 町内のインターネットなど情報通信環境に満足していますか

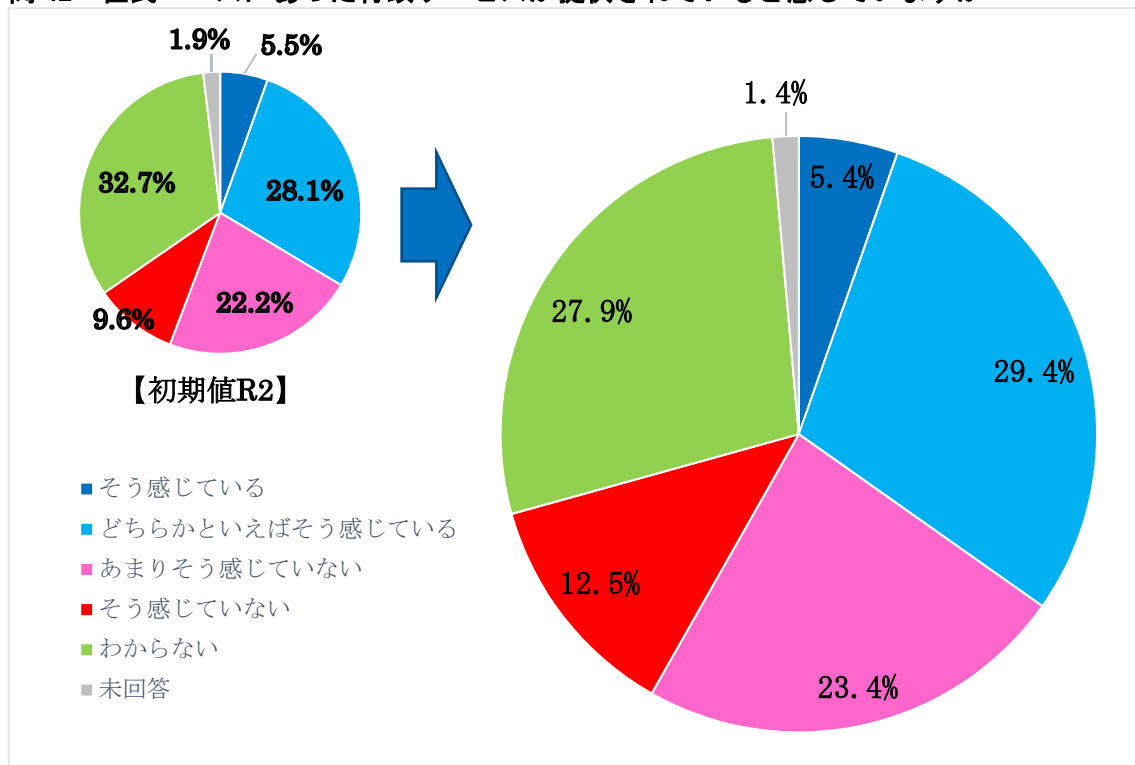


【町の行政サービスに関すること】

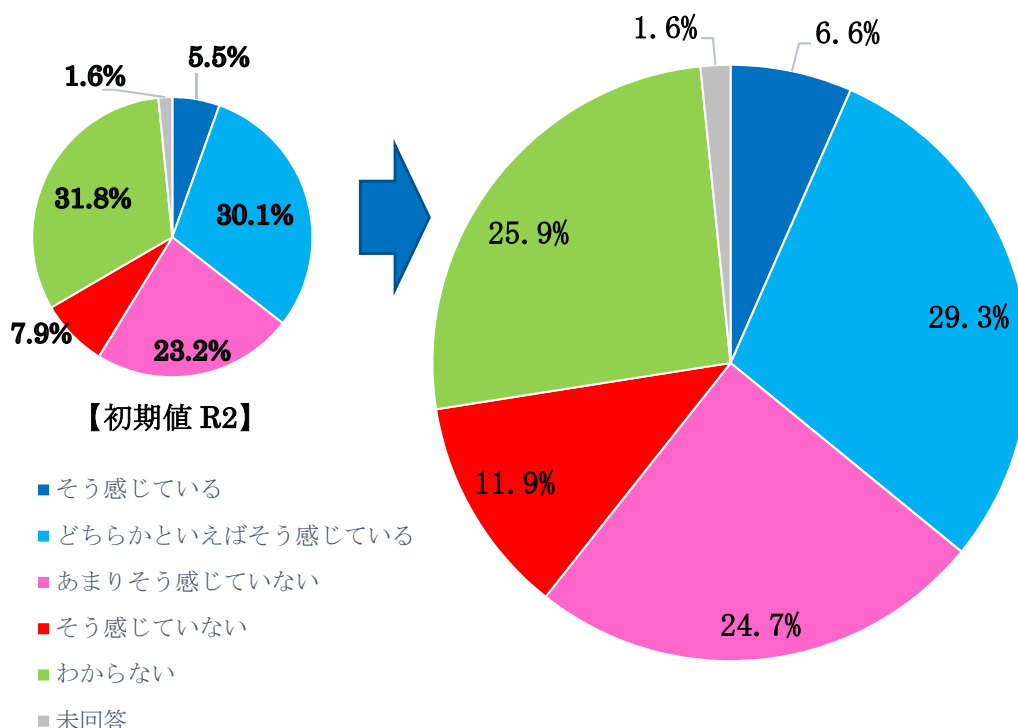
問 41 役場の業務遂行について、ムダを省き効率的行政運営が行われていると感じていますか



問 42 住民ニーズにあった行政サービスが提供されていると感じていますか



問 43 行政情報が広く公開され、必要とする情報を容易に取得できる環境にあると感じていますか



昨年度調査から引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた中での調査となりました。

「ごみ・環境問題」に関しては、引き続き住民の意識が非常に高いことが分かります。

「産業・経済」に関しては、町内の商店、飲食店等を利用していると答える人の割合が増加しています。新型コロナ臨時交付金を活用した地域商品券事業により、新型コロナウイルス感染症による活動制限や物価高騰などのマイナス要因が多くあるなかで、地域産業・経済に効果をもたらしたと考えられます。

「子育て・教育」「健康・福祉」「地域・くらし・文化」に関しては、多くの項目で肯定的意見の割合が減少しています。長引く新型コロナウイルス感染症の影響により、繋がり・関係性の希薄化の進行が危惧される結果となりました。アフターコロナ、新たな社会環境のなかで、希薄化した繋がり・関係性を再度高めていく必要があります。

「景観・生活インフラ」に関しては、地域内の道路環境、移動手段環境に関する満足度の低下が見られます。生活道路の舗装補修、免許返納後の移動手段確保に対する不安が自由記入欄においても多く寄せられています。それらの課題解消に向けた取組強化が必要です。

「行政サービス」に関しては、「わからない」という回答割合の低下が見られます。引き続き積極的な情報公開に務め、住民の関心を高める必要があります。

自由記入により寄せられた意見について

ごみの分別について

町は、2008年に「もったいない宣言」を行い、町民の皆様のご協力いただきながら地球環境保護のため先進的な環境政策に取り組んでいます。ごみの分別によって地球環境の保護、資源の有効活用などを図るほかにも、町のごみ処理費用の削減にも繋がっており、ごみ分別で削減できた費用を、子育てや福祉の費用に充てることができています。引き続き皆様のご協力をお願いします。

町の基幹産業である農業の振興について

農業は、町の基幹産業であるとともに地域を支える社会的基盤でもあり、地域農業の安定が町の活性化には必要不可欠であるものにも関わらず、高齢化や後継者問題に加え、昨今の燃料・資材価格の高騰、施設設備の老朽化など地域農業や農業者を取り巻く環境は厳しさを増す一方となっています。地域農業の継続のためには、生産、販売、消費の各方向からの対策が必要であることから、町では、県やJAなどと連携しながら、新規就農者を中心とした将来の担い手の確保や、効率化、省力化を図る機械、施設の導入支援等を行うとともに、資材等の高騰対策、家族経営や小規模農家も含めた、農業担い手の営農継続支援策の検討、農産物の高付加価値化と域内消費の推進を図っていくこととしています。また、農業振興や地域経済の循環に加え、子どもたちの健全な成長を促すためにも、地域の農産物を活用した食育活動の推進を図っていきます。

移動手段の確保について

高齢者等の移動支援策として、買い物支援（店舗までの送迎、移動販売）のほか、健康維持と余暇活動の機会提供のため、町が行う介護予防事業への参加のための送迎を行っています。今後は、通院等への移動支援実施について調査研究を進める予定としています。

道路整備、水路整備の要望対応について

町内の道路、交通安全施設、水路の整備について、多数の要望をいただいています。緊急性と予算の状況から優先度を定めて順次整備を行っていますのでご理解いただきますようお願いします。

住民票や印鑑証明書のコンビニ交付について

マイナンバーカードを利用した各種証明書のコンビニ交付については、現在の交付枚数や近隣自治体の利用率を考慮し、システム利用料・その他運用経費を試算している状況であり現在のところ導入には至っておりませんが、町民の皆様からの要望も増えてきており、導入に向けて検討を行っています。

職員の接遇について

窓口での対応では、来庁者に対する挨拶や身だしなみ、表情や言葉づかいなど、町職員としてふさわしい接遇が求められます。今後におきましても、接遇の基本となる誠意ある対応、親切で丁寧な説明など、日頃から来庁者目線での対応を心掛けるとともに、常に改善を図りながら窓口サービスの向上に努めていきます。

広報媒体の多様化について

町からの行政情報などの伝達手段としては、広報おおきに代表される紙媒体、ホームページ・SNS（LINE・Facebook・Instagram）等のデジタル媒体をはじめ様々な媒体で広報活動を行っています。今後は、広報おおきとホームページを基軸としながら、多様なデジタル媒体と連動させた広報活動の展開を図っていきます。あわせて、高齢者向けのスマホ講座などを開催し、誰もがデジタル化社会に対応できる環境を築いていきます。また、「町長への手紙」やホームページからの「お問い合わせ」による町民の皆様からの意見だけでなく、対話を通じたまちづくりを進めるために、町民の皆様との「ワークショップ」や日曜開庁日を活用した「オープンミーティング」、町と関係のある町外在住者との「リモートミーティング」など様々な対話の機会の創出を検討しており、そうした機会を通じて、行政への意見の反映や町民の皆様との相互理解を深めていきます。